

は
る
か
な
夢
を
抱
き
し
め
て



栗原市立栗駒小学校閉校記念誌



ありがとう

～みらいにつなぐ栗原市閉校記念誌～

2013.03



あいさつ			
栗駒小学校の閉校に寄せて	栗原市長	佐藤 勇	1
栗駒小学校の閉校に寄せて	栗原市教育委員会 教育長	亀井 芳光	2
「常磐の松」のごとく	栗原市立栗駒小学校 校長	木田真由美	3
栗駒小学校の閉校に寄せて	栗原市立栗駒小学校 父母教師会会長	後藤 和彦	3
校歌・校章・校旗			4
栗駒小学校沿革史			5～6
学校の概要			7～8
歴代校長・歴代父母教師会会長			9～10
寄稿文			
～元職員～ 栗駒小学校の思い出	元校長	鈴木 功	11
回想雑感	元校長	菅原 陸郎	11
心の中の栗駒小学校	元教頭	横山 剛	12
母校・栗駒小学校に勤務して	元教頭	菅原 勇喜	13
栗駒小10年間の自分史	元教諭	石川 敦	13
栗駒小学校15年間の思い出	元教諭	狩野 順子	14
～長年お世話になった皆様から～			
栗駒小学校の閉校に寄せて	栗原市議会議員	濁沼 一孝	15
栗駒小学校の閉校に寄せて	子ども神楽保存会 会長	佐藤 俊一	15
歩み続けた道	子ども神楽保存会 副会長	千葉 洋子	16
駒小学校の閉校に寄せて	社団法人 栗駒愛林会 会長	菅原 秀市	16
私たちは忘れない		菅原 照明	17
栗駒小学校閉校と統合に想う		後藤 和男	17
陸上競技大会の思い出		佐々木 栄喜	18
栗駒小学校の皆さんへ	沼倉郵便局長	小野寺喜久雄	18
地域とともに歩んで来た栗駒小学校	沼倉駐在所	高橋 修	19
感謝と寂しさ 思い出の中の二つのこと		小野寺邦義	19
思い出は今も		菅原 和広	20
栗駒小学校に感謝		菅原 幸司	21
閉校に寄せて		菅原シゲル	21
～各地区の皆さんから～			
栗駒小学校の思い出	一区	佐藤 隆子	22
小学校時代を振り返って	二区区長	蘇武 要悦	22
栗駒小学校閉校によせて	二区	芳賀 英一	23
在学していたことの思い出	三区区长	菅原 一	23
ずっと心に…	三区	佐藤香菜子	24
栗駒小学校（国民学校）の思い出	三区	千葉信一郎	25
栗駒小学校の思い出	三区	菅原 昌人	25
栗駒小学校時代の思い出	四区区長	菅原 壽	26
ありがとう 栗駒小学校	四区	菅原 則彦	26
戦争の思い出	四区	小野寺 博	27
古きをなつかしみつゝ小学校閉校に当り	五区区長	菅原 清幸	27
閉校にあたって	五区	菅原 永子	28
栗駒小学校6年間の思い出	五区	菅原 洋	28
栗駒小学校閉校に寄せて	五区	菅原 憲	29
思い出のアルバム			30～33
在園児寄書き			34
在校生寄書き			35～40



栗駒小学校の閉校に寄せて

栗原市長 佐藤 勇

秀峰栗駒山の裾野に位置し、自然豊かな山間地で、子どもたちに多くの学びを与えてきた栗駒小学校が閉校するにあたり一言ごあいさつ申し上げます。

栗駒小学校は、大正5年4月に松倉小学校と沼倉小学校が統合し、栗駒尋常小学校として開校以来、97年にわたる長い歴史と伝統を築き、松倉並びに沼倉地区の発展と地域文化の進展に重要な役割を果たしてこられました。

この間、多くの優れた人材を世に送り出し、県内外におきまして、幅広い分野で御活躍されておりますことは、松倉並びに沼倉地区の皆様のご長年にわたる温かい御支援の賜であり、厚く御礼を申し上げます。

また、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様のご並々な御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、長い歴史の中で、小学校の合併や法改正による改称などを重ねながらも、保護者をはじめ地域の方々の学校教育に対する深い御理解と御協力によりまして、健全な子どもたちの育成やPTA活動が活発に行われてきたのが栗駒小学校であります。

国定公園栗駒山麓の南東部に位置する自然環境に恵まれた栗駒小学校は、心豊かにたくましく生きる子どもの育成を目標とし、栗駒山の大自然の仕組みから多くを学び、四季の変化を肌で感じるとともに、源義経に関する史跡と伝わる判官森から歴史の語る意味を考えるなど、自然とかがわる活動が計画的に行われてきました。

また、地域の方々におかれましては、郷土愛に燃え、教育に対する関心も高く、地区民合同運動会や学芸会、高齢者との交流などに積極的に参加され、地域と子どもたちのつながりをとても大切にされてこられました。

特に、昭和55年度には子供神楽保存会が発足し、地域の方々の献身的な指導により、今日に至るまで全校児童が神楽「鶏舞」の継承に取り組んでこられました。このような活動が認められ、郷土芸能（神楽）の伝承により表彰を受け、東北博覧会や国際ゆめ交流博覧会、さらにはみやぎ国体に出演するなど、地域と学校が一体となった教育が子どもたちを健やかに育ててきたものと感じております。

これまで栗駒小学校を巣立った皆様にとりまして、母校の閉校は何事にも代え難い寂しさであり、また、地域の皆様のご愛惜の念も深いものがあると拝察いたします。

しかし、ここで歴史が終わるのではなく、これからは次代へ栗駒の歴史と伝統が受け継がれていくようお願いいたします。

栗原市といたしましては、今後も、学府くりはらの実現に向けて、教師と子どもたちがしっかりと向き合い、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる教育環境づくりを目指すとともに、栗駒小学校が育んだ歴史が長く受け継がれ、新しい地域の歴史が築かれていくことを心から御祈念申し上げ、閉校記念誌発刊のあいさつといたします。

秀峰栗駒山





栗駒小学校の閉校に寄せて

栗原市教育委員会
教育長 亀井 芳光

平成25年4月、栗駒小学校は岩ヶ崎小学校・鳥矢崎小学校と再編し、新生「栗駒小学校」として現在の岩ヶ崎小学校校舎のもとでスタートすることになりました。再編にあたり、ご理解とご協力をいただきました栗駒地区の皆さまに心より感謝申し上げます。

さて、私は、平成5年4月から平成7年の3月までの2年間、教頭として勤務させていただきました。現在の校舎を建設する時期だったので、地域やPTAの皆さまのご協力を得ながら建設委員会に携わったり、旧校舎からの引越しをした思い出が残っています。また、子ども神楽保存会の指導による全校児童による子ども神楽への取り組み、更には、栗駒愛林会による緑化活動など、地域と一体となった教育活動など、まさに「学校は地域に浮かぶ船」の如く、素晴らしい教育活動が行われておりました。

そのような意味からも、私は、栗駒小学校で地域の方々や子どもたちから多くのことを学ばせていただき、自分の教員生活にとって忘れることのできない一ページを刻ませていただきました。

しかしながら、少子化による児童生徒数の著しい減少や急激に変化する時代に生きる子どもたちの将来を考えると、学校再編は避けて通ることはできません。再編するにあたり、これまで地域と共に歩み続けてきた学校や慣れ親しんできた校舎と別れることは、地域の皆さまにとっては、寂しさや愛惜の念を禁じ得ないことと思います。

再編後は、子どもたちも地区の皆さんもこれまで脈々と受け継がれてきた栗駒小学校の輝かしい歴史や伝統を受け継ぎ、新しい出会いを喜び、共に学び、励ましあいながら、新しい伝統を築きあげ、「地域とともに歩む 新しい学校」の創造に向けて取り組んでいってくれることを、私は信じてやみません。

その実現のためには、地域・家庭・学校・教育委員会はじめ関係機関との連携が大切であります。新たに仲間となる岩ヶ崎小学校・鳥矢崎小学校の子どもたち・保護者・地域の皆さんとの交流を深め、「再編してよかった」と語り継がれる新しい学校を創りあげていただきたいと願っております。

結びに、閉校にあたり、これまで永きに渡り栗駒小学校を温かく見守り、支えてこられました地域の皆さまに心より敬意と感謝を申し上げまして、閉校記念誌に寄せる言葉といたします。



「常磐の松」のごとく

栗原市立栗駒小学校

校長 木田 真由美

春から夏は緑のグラデーションの中を、秋は黄金の穂波の中を、冬は白銀の世界を、朝な夕な、遠目近目に「栗駒山の晴れ姿」を窺いながら通った日々が、今、終わりを迎えました。この2年間は、栗駒の自然の豊かさ、そこに暮らす方々の温かさ、そして子どもたちの素直さを常に感じる日々でもありました。

「よく学び、よく遊べ」…休み時間や放課後に校庭に響く子どもたちの歓声を校長室から聞き、様子を眺める時間は、本当に心温まる一時でした。そんないつの時代も変わらぬ風景が受け継がれてきた140年という時の重み。栗駒小学校は、常に新しい時代の風を地域に送り込む希望の窓だったことでしょうか。二度の校舎焼失のため詳細を辿ることができないのが非常に残念ですが、明治6年に松倉、沼倉の二寺を出発点として、戦後復興の中では在籍が500名を数えるなど、幾多の人材を世に送り出し、地域の発展を支えてまいりました。しかしながら、平成13年からは100人を割り込み、今年度は41名と少子化そのものの状況となり、3,430の卒業生（新制）をもって閉校することとなりました。この間、愛林会や神楽保存会に代表されるように、地域の有形無形の厚い御後援や御家庭の御理解御協力があって、教育活動を潤滑に推進し、地域の学校として責を果たすことができました。歴代の校長を代表して心より深く感謝申し上げます。

学校が地域から消え、母校と呼べる具体の存在が無くなってしまふことを考えますと寂しさは尽きませんが、社会がグローバル化に向かう大きな流れの中にあつて学校教育にも新たな視点が求められている今、教育の質の向上を図るために学校再編はやむを得ない方策と言えます。栗原市のみならず、日本の未来の担い手として子どもたちを一層大きく育むため、よりよい成長を保証するための再編です。きっと、新しい栗駒小学校で多くの仲間と出会い、個性や能力をより高く伸ばし、心をより豊かによりたくましく磨き、それぞれの夢を大きく育てていってくれることなのでしょう。

悠久の栗駒山に見守られて、「常磐の松」のごとくいかなる困難にも耐え、子どもたちが自らの人生を自らの力で設計し、堂々と歩いていってくれることをいつまでも祈っております。

栗駒小学校の閉校に寄せて

栗原市立栗駒小学校

父母教師会会長 後藤 和彦

判官森の下にして栗駒山を仰ぐ、われらの学び舎栗駒小学校。校歌の歌詞にもありますように、栗駒小学校は雄大にそびえ立つ栗駒山を間近に、春夏秋冬移り行く季節の中で変化する山の姿を眺め、恵まれた環境の中、明治6年から現在に至るまでの140年間、何人もの児童をこの学び舎は育ててまいりました。しかし近年、児童数が年々減少し、栗原市の学校再編によりこの長きにわたる歴史が今、幕を閉じようとしています。

栗駒小学校は地域の皆様方の母校でもあり、常に地域の拠点として今まで愛されてまいりました。私はこの栗駒小学校を27年前に卒業しました。そして閉校を迎えるこの時期に我が子が栗駒小学校に在学しており、今回その保護者として閉校に携わることになったのも、何かの縁なのかなと感慨深い気持ちであります。

近年の栗駒小学校は特に地域と連携を取り、繋がりを持って、学校行事を行って参りました。学校と地域の合同の運動会では、その準備等を含めた奉仕作業を地域の皆様方からの協力を得て行って参りました。そして栗駒地区全体で行われている「たすきリレー」も地域の一大イベントとして毎年秋に開催しております。これも、栗駒地区の皆様方と学校が一体となり行っている、他の地域では見られない、栗駒地区だけの大変有意義な行事です。

今まで、いつもご協力いただきました地域の皆様方には、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

昨年度と本年度の2年間は、特に少ない保護者数にも関わらず、閉校という今まで経験のない事を迎えるにあたり、保護者の皆様、先生方には多大なご負担をお掛けいたしました。通常の学校の行事に加え、閉校事業の実行委員会もあり、保護者の皆様の中には、役員を掛け持ちして頑張ってくださいました。自分自身も役員として携わりましたが、至らない事が多々ありました事をお詫びすると同時に、保護者の皆様方、先生方のご協力に大変感謝しております。

これからは新生「栗駒小学校」として岩ヶ崎、鳥矢崎、そして栗駒地区の子供たちが同じ学校の仲間として学んでいく事になります。今まで栗駒小学校で学んだ事、思い出を胸に、誇りを持って新しい学校に通ってほしいと願っております。そして「友達」「思い出」という、自分にとっての「宝物」を沢山作ってもらいたいと思います。

最後になりますが、この閉校行事・記念誌制作に当たり、お世話になりました関係各位の皆様方に深く感謝し、御礼申し上げます。

「今までありがとう栗駒小学校。」



栗駒小学校 校歌

小野寺敬一 作詞
海銚 義美 作曲

1. へ いわの そらに おおらかな
 くりこまさんの はるすがた あお
 ぐこころも ひ
 ろびろと
 たのしくともに てをつなぐ
 われらくりこましょう
 がっこう



栗駒小学校

校歌

作詞 小野寺敬一
作曲 海銚 義美

一、平和の空に おおらかな

栗駒山の 春姿
仰ぐ心も ひろびると
楽しく共に 手をつなぐ
われら 栗駒小学校

二、雪溪晴れて 清らかな

三迫川 そうそうの
水を鏡に たゆみなく
誠の道に いそしみの
われら 栗駒小学校

三、稔りの秋の 健やかな

里宮まつる 喜びに
学ぶ自由も 責負うて
明るい窓に 励みあう
われら 栗駒小学校

四、常磐の松の こまやかな

判官森の 下にして
強く生いたつ この胸に
はるかな夢を 抱きしめる
われら 栗駒小学校





年月	沿革
明治 6. 4	松倉小学校・沼倉小学校創設
大正 5. 4	松倉・沼倉両小学校を統合し栗駒尋常小学校と呼称、玉山分教場を含め、六学級編制となる
7. 3	現在地に新校舎竣工（981坪）
12. 4	栗駒尋常高等小学校と改称（高等科一年 27名入学）
昭和 16. 4	栗駒国民学校と改称
22. 4	栗駒村立栗駒小学校と改称
23. 5	父母教師会発足
26. 2	校歌制定（作詞小野寺敬一、作曲海鉾義美）
4	耕英分校開設
27. 8	簡易水道敷設
29. 11	貯蓄優秀校表彰（県信連より）
12	新校舎竣工（475坪）
30. 1	栗駒町立栗駒小学校と改称（町村合併により）
36. 10	耕英分校独立
38. 11	完全給食開始
39. 11	道徳教育研究公開（文部省指定）
40. 10	玉山分校廃校
41. 10	創立50周年記念式典挙行
44. 8	渡辺文庫開設（平成4年11月解体）
46. 4	特殊学級開設
7	プール竣工（ビニール製 8m×25m）
49. 1	給食優良校表彰（県教委より）
2	不審火により校舎焼失のため栗駒第二中学校に移転
4	耕英小学校廃止により分校として開設
51. 7	「こぶし」を校木として制定
52. 4	福祉教育普及校に指定（52、53、54年度）
53. 4	校旗制定記念式挙行 家庭教育学級移植（文部省）
54. 11	給食優良校表彰（文部省）
55. 6	子供神楽保存会発足
56. 11	郷土芸能（神楽）の伝承により表彰（大崎・栗原地区モデル定住圏計画推進委員会）
57. 12	「ふるさと学習」交歓会（一関市立市野々小学校）
60. 4	体育活動推進校に指定（県教委60・61年度） 愛鳥モデル校に指定（宮城県知事60～66年度）
6	「どんぐり」マラソンコース新設
61. 4	ふるさと少年教室に指定（町教委61年度）
9	体育用器具格納庫新設
62. 2	町青少年指導委員会実践発表
8	東北博覧会に神楽出演
9	父母教師会表彰（県父母教師会安全会より3年間無事故）
10	体育活動推進研究表彰（学習研究社より）
平成 元. 10	体育用具竹馬備付（プラスチック製大・中・小42本）
12	どんぐりコース崩壊箇所補修
2. 7	環境教育モデル校に指定（県保健環境部2・3年度）
3. 10	児童遊園地遊具移動（一部撤去）
4. 11	校地拡張工事開始
5. 1	子供神楽保存会結成15周年記念式典
8	校舎新築工事
6. 3	新校舎落成移転
4	家庭教育学級推進校に委嘱（6年度）
7	新プール完成（25m5コース、補助プール付）
11	校庭東端桜植樹（「思い川」10本、大手花の会より寄贈） 校舎前日本庭園造成（ロータリークラブより寄贈）
7. 3	学校入り口門柱設置（婦人会より寄贈）
8. 3	新屋内運動場完成





年月	沿革
平成	8. 4 ボランティア活動普及事業協力校に指定（県社福祉協8～10年度）
	9 遊具等設置（登り棒、コンビネーションジム、ぶらんこ、雲梯、築山）
	10 校庭整備作業完了（暗渠敷設）
	9. 3 レッドロビン校庭西側に植樹（校舎建築促進委員会寄贈）
	6 本校児童分校地域交流学習開始
	8 国際ゆめ交流博覧会に神楽出演
	10 ぶな20本、桜10本植樹（全国植樹祭記念として県より寄贈）
	12 学校入り口松植栽（菅原照明氏より寄贈）
	10. 6 絵画「夢告・来迎」寄贈（卒業生荒井美代子氏より）
	8 給食下処理室増築
	11. 11 体育館通路防雪扉設置
	12. 4 心をはぐくむ教育活動推進校指定（県教委）
	8 プレ国体に子供神楽出演
	12 子供神楽保存会20周年記念式典
	13. 4 パソコン教室一式寄贈（デンコードーより）
	6 「自然のめいろ」コース新設（愛林会）
	8 相撲場建設
	10 国体に子供神楽出演
	15. 9 宮城県歯科医師会より「よい歯の学校」表彰
	11 創立130周年航空写真撮影
	16. 9 宮城県歯科医師会より「よい歯の学校」表彰
	第41回郡陸上大会女子400mリレー優勝
	17. 3 合併により栗駒町立として最後の卒業生15名
	4 栗原市立栗駒小学校となる
	8 全国小学生陸上競技交流大会全国大会に出場（女子100m走）（国立競技場において）
11 交通安全学校表彰を受ける	
18. 9 学校裏治山工事（愛林会）	
19. 7 腕白相撲全国大会出場（両国国技館において）	
9 宮城県歯科医師会より「よい歯の学校」表彰	
20. 6 岩手・宮城内陸地震発生（14日）	
栗駒小学校耕英分校が本校校舎で授業再開（23日）	
7 腕白相撲全国大会出場（両国国技館において）	
9 体育館つり天バスケットボード固定フック取り替え工事	
宮城県歯科医師会より「よい歯の学校」表彰	
21. 1 岩手・宮城内陸地震災害関連緊急学校裏治山工事（愛林会）	
4 栗駒小学校耕英分校が休校となる	
特別支援学級「自閉症・情緒障害」新設	
9 宮城県歯科医師会より「よい歯の学校」表彰	
パソコン教室一式新規総入れ替え	
22. 4 複式学級（2・3年）開設	
6 特別支援学級「自閉症・情緒障害」解消（転出のため）	
9 宮城県歯科医師会より「よい歯の学校」表彰	
10 父母教師会が栗原市立小学校再編計画案に合意	
23. 3 東北地方太平洋沖地震発生（11日）	
臨時休業（東北地方太平洋沖地震のため14日～23日）	
栗駒小学校耕英分校閉校（31日）	
4 特別支援学級「知的障害」新設	
学力向上サポートプログラム事業支援校指定（県教委）	
臨時休業（東北地方太平洋沖地震のため8日～13日）	
9 宮城県歯科医師会より「よい歯の学校」表彰	
24. 2 エアコン設置 校長室、職員室、保健室）	
4 協働教育推進モデル校指定	
8 校庭除染工事	
11 築館税務署長賞表彰	
25. 3 140年の歴史に幕を閉じる	

学区の概要

当学区は、北は岩手県一関市に接し、国定公園栗駒山麓の南東部に位置する自然環境に恵まれた地域である。地形的には、東西に連なる中央を、栗駒山を源とする清流三迫川が栗駒ダムを経て南へと流れている。学校の北側には、源義経に関する史跡といわれている「判官森」がある。(平成20年の岩手・宮城内陸地震により自然散策コースは現在閉鎖)

面積はおよそ80平方キロメートルあり、戸数は407戸、人口は1,349人を数える。畜産と稲作中心の兼業農家が大部分を占め、保護者の多くは会社や工場等に就労している。



学区民は、純朴で郷土愛に燃え、教育に対する関心も高く、地区民合同運動会や学芸会、高齢者交流などの学校行事に積極的に参加し、協力してくれる。地域には綿々と続く伝統神楽「鶏舞」があり、地域の文化財として守り育ててきている。昭和55年度に子供神楽保存会が発足し、会長や副会長を中心とした地区民の献身的な指導により、全校児童が神楽「鶏舞」の継承に取り組んでいる。

平成17年度から4ケ年間、栗駒地区内小学校は宮城県教育委員会指定「小学校英語教育推進事業」を受け、3年生以上の児童を対象に、総合的な学習の時間を活用した年間30時間の英語活動に取り組んだ。平成23年度には、宮城県教育委員会より学力向上サポートプログラム事業推進校の指定を受け、算数科の授業改善に取り組んだ。その一方、児童数の減少に伴い、平成22年度より複式学級を開設、平成23年3月31日には耕英分校が閉校した。

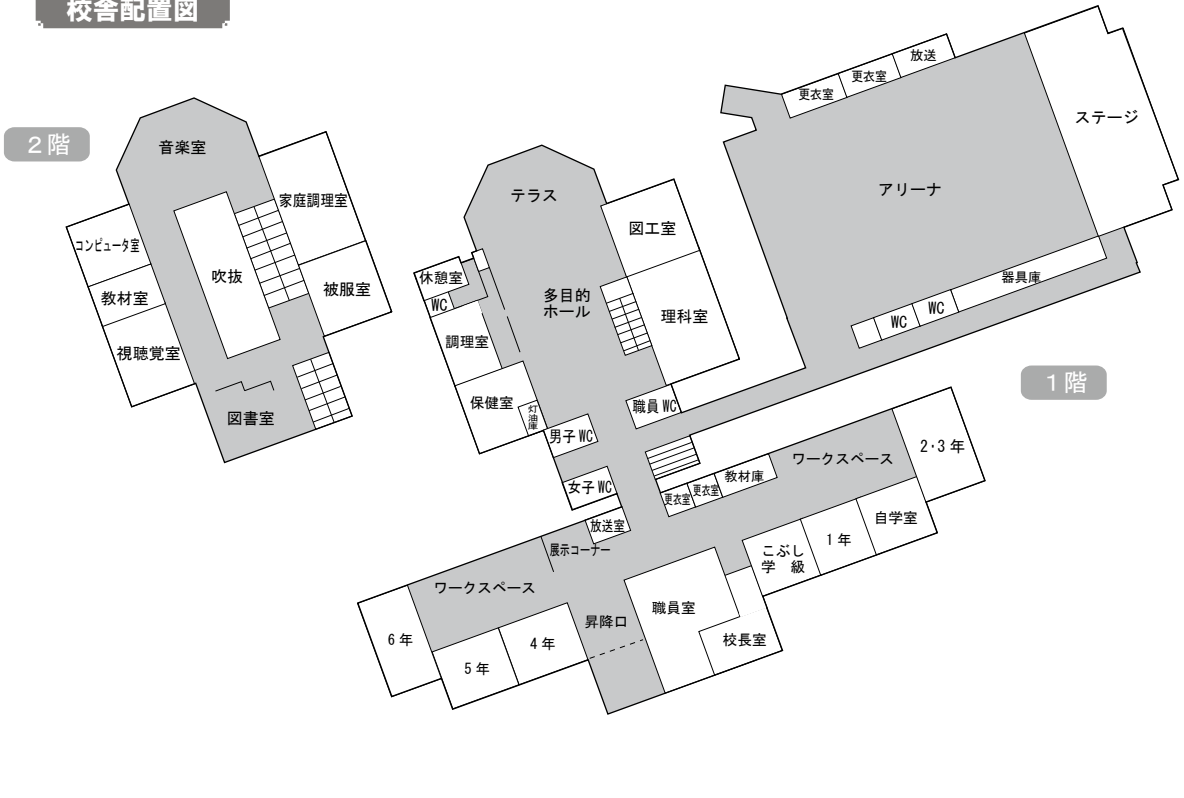


校舎のようす



学校平面図

校舎配置図



2階

1階



沼倉小 1・3・5代	山下 一氏	校長
初代 大正5年～大正11年	千葉 柳吉	校長
第2代 大正12年～昭和4年	石川 一郎	校長
第3代 昭和5年～昭和9年	菅原弥太郎	校長
第4代 昭和10年～昭和15年	佐竹 馨	校長
第5代 昭和16年～昭和18年	佐藤 恭助	校長
第6代 昭和19年～昭和21年	菅原 堯	校長
第7代 昭和22年～昭和27年	菅原富士郎	校長
第8代 昭和28年～昭和30年	千葉 憲司	校長
第9代 昭和31年～昭和32年	家喜 喜治	校長
第10代 昭和33年～昭和34年	三浦 義勇	校長
第11代 昭和35年	高橋 盛夫	校長
第12代 昭和36年～昭和39年	斎藤 勝雄	校長
第13代 昭和40年～昭和41年	朝倉 忠治	校長
第14代 昭和42年～昭和43年	岩本 勝美	校長
第15代 昭和44年～昭和47年	菅原 繁	校長
第16代 昭和48年～昭和49年	小野寺 巧	校長
第17代 昭和50年～昭和51年	百々小五郎	校長
第18代 昭和52年～昭和54年	佐藤 吉郎	校長
第19代 昭和55年～昭和58年	佐藤 幸一	校長
第20代 昭和59年～昭和60年	佐藤 孝志	校長
第21代 昭和61年～昭和62年	鈴木 功	校長
第22代 昭和63年～平成元年	鹿野 守彦	校長
第23代 平成2年～平成3年	菅原 幹夫	校長
第24代 平成4年～平成5年	菅原 陸郎	校長
第25代 平成6年～平成7年	日野 徳朗	校長
第26代 平成8年～平成9年	濱田 利昭	校長
第27代 平成10年～平成12年	鹿野 昌行	校長
第28代 平成13年～平成15年	高橋 義昭	校長
第29代 平成16年～平成17年	鹿野 裕	校長
第30代 平成18年～平成20年	早坂 敏	校長
第31代 平成21年～平成22年	佐藤 純一	校長
第32代 平成23年～平成24年	木田真由美	校長





初代	昭和23年～昭和24年	佐竹 馨	会長
第2代	昭和25年～昭和26年	高橋 仙応	会長
第3代	昭和27年～昭和28年	芳賀徳太郎	会長
第4代	昭和29年～昭和30年	菅原 直人	会長
第5代・11代	昭和31年	菅原幸三郎	会長
第6代・8代	昭和32年～昭和33年	菅原直次郎	会長
第7代	昭和34年	菅原清太郎	会長
第9代		菅原軍一郎	会長
第10代		菅原 由雄	会長
第12代		菅原 敏郎	会長
第13代	昭和45年～昭和46年	遠藤 幸志	会長
第14代	昭和47年	菅原 敏明	会長
第15代	昭和48年～昭和49年	菅原 昭七	会長
第16代	昭和50年～昭和51年	山上 文明	会長
第17代	昭和52年	佐藤 晃弥	会長
第18代	昭和53年	小野寺 實	会長
第19代	昭和54年～昭和56年	佐藤 俊一	会長
第20代	昭和57年～昭和60年	金野 勇一	会長
第21代	昭和61年	狩野 徳郎	会長
第22代	昭和62年～平成2年	菅原 憲	会長
第23代	平成3年	濁沼 栄一	会長
第24代	平成4年～平成6年	伊藤 重行	会長
第25代	平成7年～平成9年	菅原 時男	会長
第26代	平成10年～平成13年	菅原 浩紀	会長
第27代	平成14年	狩野 静一	会長
第28代	平成15年	佐藤ゆかり	会長
第29代	平成16年	千葉 恵美	会長
第30代	平成17年～平成19年	菅原 芳幸	会長
第31代	平成20年	小野寺孝幸	会長
第32代	平成21年～平成22年	菅原 則彦	会長
第33代	平成23年～平成24年	後藤 和彦	会長



栗駒小学校の思い出

元校長 鈴木 功

栗駒小学校とは縁があって、教頭、校長合わせて6年間お世話になりました。特に教職40年最後の学校でしたので忘れることはできません。

素直で明るい子供たち、協力的な父母、地区の皆さん、それにすばらしい同僚に恵まれ幸せでした。

◆鶏舞◆

昭和52年、教頭で赴任、当時の校長は佐藤吉郎先生でした。神楽に造詣が深く、県内の神楽大会の審査員も務めておりました。

そこで、52年より校長先生を中心にPTA役員の佐藤俊一さん、千葉洋子さんを指導者に全校児童で「鶏舞」に取り組むことになりました。

運動会、町内のお祭り、東北博覧会（仙台）に出演したことなど思い出されます。

◆県教委指定「体育活動」研究公開◆

昭和61年校長の時研究公開を行いました。

学校の裏山（判官森）の地形を利用してつくった「どんぐりコース」を毎朝、児童、先生一緒に走りました。

また、運動量が多く、しかも地域の特色を生かした「鶏舞」も取り入れ、この二つを大きな柱として研究を進めました。校庭いっぱいには繰り広げられた「鶏舞」の光景は今でも忘れることはできません。

◆耕英分校◆

分校の入学、卒業には部落をあげて参加し、分校と部落が一体となっていることを感じました。

また、冬は分校が寄宿舎となり、先生方が親がわりになって面倒を見ていました。僻地の先生方の苦勞を知る貴重な体験でした。

今後もその特色を生かした「地域づくり」に励んで欲しいと思います。

最後に、栗駒小学校がなくなっても郷土芸能としての、「鶏舞」はぜひ続けてほしいものです。

回想雑感

元校長 菅原 陸郎

先日、栗駒小学校閉校記念誌編集部から「栗駒小学校での思い出」の原稿依頼があり、久しぶりに古い本棚の奥から、「栗駒小学校教育計画」や「校内研究のまとめ」や子どもたちの「文集」を引っ張り出して、当時の様子を頭の中にかべながら思い出にひたりました。

栗駒小学校には、ご縁がありまして、教員生活中に三度もお世話になりました。

玉山ダム工事のハッパの音を聞きながら玉山分校へ通ったのが、私の教師生活の第一歩でした。

今思うと、あの雪深い工事現場用の道をテクテクと歩き、途中にある飯場から「火にあたっていけ！」とか、「休んでいけ！」という、あたたかい声をかけられながら分校へと歩いたのが当時のつらい・さびしい思い出として、うかんできます。

楽しいこともありました。分校の運動会です。

校庭がせまいため、田んぼの中にまで走路をつくって、校庭からその田んぼの走路を走ってゴールです。

そんなせまい、目のまわるような徒競走を部落全員で楽しんだことも、わすれられない思い出のひとつです。

栗駒小学校二度目の勤務は、本校2年・耕英分校1年の勤務でした。

三度目の勤務は、ちょうど私の退職の時期での勤務でした。毎日、新校舎の出来上りを楽しみにすごした時期でもありました。

その新校舎への引越しの日には、児童・教職員の他に父兄からの大きなお手伝いがありました。

また、学校の中には、他の学校ではあまり見られない学校風景がありました。校長室の窓から校庭を見ると、子どもたちが飼育している「にわとり」が、飼育係の子どもたちの後を、トコ・トコついてまわる風景など、度々目にすることがありました。

「常盤の松の こまやかな 判官森の下にして 強く生いたつこの胸に……。」と、校歌にうたわれていますが、こうした、すばらしい学校環境の中で過ごすことができ、教育活動ができたことは、私の貴重な財産の一つになっています。

新校舎に移って三日目、長い教員生活の退職の日をむかえました。「三日天下」の新校舎での勤務でした。

いろいろな、たくさんの思い出を胸に、お世話になった人々に感謝をしながら栗駒小学校を後にしました。

※菅原陸郎先生は、平成24年9月8日にご逝去されました。
安らかにご永眠されますようお願いいたします。



心の中の栗駒小学校

元教頭 横山 剛

私の栗駒小学校での教頭勤務は、平成14年度～平成16年度の3年間でした。気仙沼での3年間の単身赴任を終え、ようやく栗原に戻れると喜んだものでした。自宅が岩手県衣川、勤務地としては一番近い（片道約32km）学校でしたので、自然や生活環境も全く変わらず、赴任早々とても親近感を抱いたことを思い出します。

当時の児童数は80名で学年一学級、耕英分校は3名でした。PTAでは愛林会という山を所有し、学校の裏山が林間学習コース（義経ゆかりの判官森）となっており、子供たちは基地を作ったり、山菜や沢ガニを捕ったりしていました。学校前には三迫川が流れており、四年生社会科での「生き物調査」の格好の学習場所でした。学校給食は自校方式で行っており、地域の方々を招待してのバイキング給食を実施したり、卒業生へのナイフとフォークを使ったマナー給食が実施されたり、職員はプライドを持って仕事にあたっていました。近くには交番、郵便局、JAが、歩いて3分以内のところがあり、行政関係のやりとりでは全く便利でありがたいものでした。また、敷地内には幼稚園があり、校長・教頭は兼務となっており、子供の成長をトータルで体感でき勉強になりました。

仕事としては一番忙しかったように思います。授業としては五年と六年社会科を担当し、PTA、愛林会事務局と会計、給食関係担当、幼稚園関係事務、耕英分校事務兼務、神楽保存会事務局、それから栗原教頭会や栗教協専門部会事務局、栗原郡PTA関係事務も担当しており、目がまわるほどでした。しかし、敏腕な教務の先生（相撲クラブもあり教務担当）や分校主任の助けを借りてなんとかこなすことができたことを思い出します。

子供たちは全く私の時代と変わらない輝きを持っていました。内弁慶ではにかみや、考えには頑固なところもあり、体験にもとづく生活の知恵に満ちていました。クラブ活動や教科学習では方法論をきちんと教え、自分の力として消化できると改めて自分の力に驚くという場面を何度も目にすることができました。先生方は自分の力に自信を持ち、子供と妥協せず指導にあたっていたことを思い出します。



平成15年航空写真

なんといっても忘れられないのが、神楽保存会・千葉洋子さんの博報賞受賞です。伝統芸能部門での個人賞でしたが、昭和45年設立以来の苦勞が報われた一瞬でした。地域あげて祝福したことが思い出されます。

栗駒小学校での私の最大の楽しみは、国定公園の中にある耕英分校の年間行事に参加することでした。当時、分校には春の行事は山菜取り、秋の行事はきのこ狩りと二つの自然を相手にする行事がありました。なぜか校長先生は春担当で、私は秋担当でした。秋晴れの紅葉した栗駒山中を気兼ねなく散策し、倒木に顔を出すナメコやむきだけ、サワモタツ等を採る醍醐味は今でも忘れません。分校の子供たちが、山頂付近で軽々と草すべりを楽しんでいたことも思い出されます。翌年、三年生以上の全校登山も実現し、全員で1628mの空気を共有できました。

思い出いっぱいの栗駒も、私の退職した年、平成20年（6月14日）の内陸地震では大変な被害を受けました。8月、宮島先生の呼びかけで栗駒小に集まり、ボランティアとして耕英分校に向かいました。崖崩れ、地割れ、山の崩落、そして分校内の荒れようには目を疑いました。以来分校は閉鎖と聞いております。その後平成23年3月11日の東日本大震災、4月7日の余震と災害の渦に巻き込まれてしまいましたが、児童の命には別状ないと聞き及び、幸いの限りです。

残念ながら、迫りくる少子高齢化と自然災害の被害で学校統合に至ることはやむを得ないことでしょう。統合をして一学年二クラス以上の編制で切磋琢磨し、それぞれの地域の良さを生かし、自己変革できる子供たちであってほしいと願います。

新栗駒小学校の場所は岩ヶ崎小のようですが、北緯38度51分、東経140度57分、標高67mの栗駒小と、北緯38度55分、東経140度49分、標高572mの耕英分校の思いでは永遠に私の心の中にあります。



母校・栗駒小学校に勤務して

元教頭 菅原 勇喜

栗駒小学校校歌の一節に、『雪溪晴れて清らかな 三迫川そうそうの……』とか、『常盤の松のこまやかな 判官森の下にして……』の歌詞があります。栗駒山を源とする三迫川の清流や、義経伝説と結び付く判官森一帯は、栗駒小の卒業生にとって、忘れられない古里の景観です。

私は母校である栗駒小学校に、二度にわたって勤務する機会に恵まれました。最初は新任の頃で二回目は教頭時代です。ですから栗駒小学校は、幼い頃から教師として独り立ちできるまで、多くの方々に温かく支えていただいた懐かしい場所です。今はただ、栗駒小学校の卒業生としての誇りと、地域の方々への感謝の念で一杯です。しかし、今年度限りで閉校になることを知り、一抹の寂しさを覚えます。

私たち同級生90数名が、栗駒国民学校一年に入学したのは、1944年（昭和19年）4月のことでした。第二次世界大戦中のことであり、子供心にも戦争の恐ろしさと不安を抱きながら通学しました。二年生になって間もなく細倉鉦山が爆撃を受けました。その後は空襲を知らせるサイレンが鳴ると、全校児童は担任の指示に従って裏山へ避難しました。終戦までおびえて暮らす毎日が続きました。

1960年（昭和35年）、新任教師として栗駒小学校に赴任しました。一年目は耕英分校、二年目玉山分校に勤務し、三年目は本校で六年生を担当しました。この学年は児童数が最も多く、100名を超えて三クラス編成でした。当時はまだプールが無かった時代で、水泳指導は三迫川を利用しました。学校で指定した水泳の場所は、お駒橋付近でした。水着姿の子供たちは、暑い日差しの中歩いて移動します。三迫川の清流はひんやりとして心地よく、子供たちは夢中になって川遊びをしたり泳いだりしました。

栗駒小学校で二回目の勤務は、平成元年のことです。当時のPTA作業で、感銘を受けた思い出があります。冬休みを間近に控えた12月末、季節外れの台風が襲われました。学校林の杉の木が倒され、どんぐりコースの山の斜面が崩れ落ちてしまいました。ところがPTA会長さんの掛け声で、大勢のお父さん方が機械を持ち寄り、先生方と共に復旧作業に取り掛かりました。学校としてもありがたいやら嬉しいやらで、素晴らしい年の瀬となりました。

数々の歴史と伝統を積み重ねてきた栗駒小学校は、今その幕を下ろそうとしています。しかし、ここで学んだ多くの人々の胸には、消えることのない悲喜こもごもの思い出が刻み込まれています。ありがとう栗駒小学校

栗駒小10年間の自分史

元教諭 石川 敦

私は栗駒小学校に二回勤務しました。当時お世話になった皆様、そして未熟だった私の授業に、曇りのない眼で一生懸命取り組んでくれた子どもたちのことを思いながら、栗小での10年間を綴らせていただきます。

一年目は平成5年4月、旧校舎最後の年に五年生38名の担任としてスタートしました。学芸会では「ぞうれっしやがやってきた」の音楽劇に取り組み、子どもたちと一緒に保護者の方も参加して歌った歌声が忘れられません。

二年目は、木の温もりを感じる新校舎で、好奇心いっぱいの三年生23名の担任となりました。新校舎完成の喜びとともに旧校舎が鉄球で打ち砕かれ解体されていく様子を子どもたちと複雑な気持ちで見つめていました。

三年目は、たんぼぼのような三年生16名の担任になりました。しかし、半年間研修に行く教務の先生の代理をするため、9月から講師の先生にバトンタッチしました。

四年目は、六年生13名の担任となりました。円くなって毎日大笑いしながら食べる給食。各種大会・作品応募では、誰もが活躍して好成績。親子サマーキャンプ、神楽出演等六年生ならではのたくさんの素敵な思い出を学級通信「かたくりと13人の仲間だぜ」に綴りました。

この後、平成9年から11年までの3年間は、耕英分校に勤務しました。開拓精神を持った保護者、地域の方々が分校を支えてくださいました。雪に囲まれ、小さな灯りのともる寄宿舎で、家族のように寝食を共にした子どもたちとの生活は、教育の原点に触れた思いがしました。

こうして、一回目の栗駒小勤務は分校を含め7年間で終了し、二回目は、平成18年4月から始まりました。担任ではなく教務主任だったので、PTA会長さんや役員の方々、神楽の会長・副会長さん等に大変お世話になりました。

平成20年4月、少人数化の影響は学級編制にも表れ、教務をしながら二年生男子8名の担任となりました。この年、岩手・宮城内陸地震が発生しましたが、幸いにも子どもたちは元気で、学級通信「八郎」に牛若丸のような子どもたちの様子を綴りました。毎日朗読し、九九を暗唱し、「じごくのそうべえ」を学芸会に取り組んだこの二年生が、私の教師生活最後の担任となります。

時代の流れの中で、栗駒小は当初の役割を果たし終えました。しかし、栗駒小が育んできたものは、一人一人の中に生き続けていくものと信じます。栗駒小は、私が悩んだときに立ち戻る教師人生の拠り所となる愛着ある学校です。この栗駒小で皆さんと同じ時間を共有できたことを幸せに、そして誇りに思います。ありがとうございました。



栗駒小学校15年間の思い出

元教諭 狩野 順子

養護教諭となり三十余年、その約半数の年月を栗駒小学校で過ごさせていただきました。たくさんの思い出は心の中、写真・ビデオの中にぎっしり収まっています。ここに25年前からの思い出を綴ってみたいと思います。

【昭和63年～平成6年までの7年間】

- 一、旧校舎玄関左にあった保健室。菅原美貴子先生の後を引継ぎました。廊下向かいには二クラスのにぎやかな幼稚園。
- 二、本校174名、分校15名、幼稚園40名。修学旅行、遠足、合宿、臨海学校、スキー教室。みな引率しました。
- 三、神楽「鶏舞」NHK取材。舞の披露とインタビュー。今その子たちは36歳。神楽納会は餅つきをしました。
- 四、月一回耕英分校に保健指導。山道をマラソンし、先生も児童も肥満解消。海辺の学校との交流もありました。女川の臨海学校、安比のスキー合宿は忘れられません。
- 五、当時やんちゃさんが多かったのか、岩ヶ崎や一ノ関の病院にお世話になりました。今でも数々覚えていています。
- 六、スキー教室（栗駒荘やいこいの村に宿泊3～6年）一日目初級が二日目中級に。上達が早かったのは、毎年の積み重ねとスキーに連れて行く家庭が多かったからかな。
- 七、校舎お別れ式。リヤカーで何往復もして新校舎へ引越しをしました。木の香りのする校舎でスタート。



先生方とPTAの研修旅行

【平成14年～平成21年の8年間】

- 一、栗小に戻れた喜びで栗小紹介ビデオ「自然いっぱい 元気いっぱい栗小っ子」（20分）を製作しました。
- 二、判官森、弁慶森、自然の迷路コース。体力作り、総合学習、息抜き等々。たくさんの動植物に出会えました。
- 三、快晴（台風明け）の全校栗駒登山。励まし八合目まで登った幼稚園親子登山。須川コースの分校登山。山を満喫後、温泉に入りました。いこいの村、須川温泉懐かしいです。
- 四、相変わらず元気な神楽の会長、副会長さん。手取り足取りの指導のもと、全員踊れるようになり、多くの場で鶏舞を披露しました。運動会では在校生、卒業生と一緒に踊る姿は感動ものです。ビデオ撮影のため追っかけの8年間。
- 五、お父さん、お母さんになっての再会が次々と。入園式の記念写真と一緒に並んで写れるなんて最高です。
- 六、一年から六年までの性教育。六年生の親子が、助産師蘇武加代子さんに「命の授業」を受け、喜びを新たに…。
- 七、岩手・宮城内陸地震発生。皆で励まし合い、助け合っ乗り越えることができました。8月6日仮設道路を通り分校の片付けをしました。
- 八、離任式。栗駒小学校 お世話になりました。



平成14年 伝統神楽

閉校に向けて……。本当にありがとうございました。



平成16年 6学年サマーキャンプ



栗駒小学校の閉校に寄せて

栗原市議会議員

濁沼 一孝

秀峰栗駒山、そして栗駒山を源として流れる三迫川の上流に位置し、判官森の下に整然と建つ栗駒小学校。大正5年沼倉小学校・松倉小学校が統合し栗駒尋常小学校と改称、昭和30年には町村合併により栗駒小学校と改称されました。以来五十八余年にわたり、栗駒地区の教育・地域の交流の場として歩み続けてきた栗駒小学校です。この度の学校再編計画により、岩ヶ崎・栗駒・鳥矢崎の各小学校が統合し、平成25年4月1日に栗駒小学校として開校することになりました。

私は昭和28年4月に栗駒小学校に入学しました。当時栗駒小学校は、校庭北側に栗駒中学校、その前に栗駒小学校がありました。校舎の前には花壇があり、二ノ宮尊徳先生の銅像が建っていました。その後新校舎に移り、新しい校舎での生活が始まりました。当時小学校の児童が500人位、中学校の生徒が300人位いたと思います。小学校・中学校が一緒だったので、学芸会・運動会等は大変盛大に行われた事を思い出します。友達と判官森・弁慶森に登って弁当を食べたり、写生会をしたり、学校林の手入れをしたり、色々な思い出が浮かんできます。

この度の学校再編するにあたり、地域と共に歩んできた学校が無くなるということは本当に残念ではありません。しかし、少子化による児童数の減少で統合は避けて通れないと思います。小学生の皆さんも新生栗駒小学校の児童になっても、栗駒小学校で育んだ歴史や伝統を受け継ぎ、学び、励ましあいながら、学業に励んでほしいと思います。そして小学生の皆さん、父兄の皆さん、地区民の皆さんが統合して良かったと言われる新生栗駒小学校を共に創っていきたいと思います。閉校する校舎は長年にわたり地域の教育の場・地域のコミュニケーションの場として活用されてきました。又、平成20年6月14日の岩手宮城内陸地震や平成23年3月11日に発生した東日本大震災でも被害が全くない校舎です。今後地域の活性化、憩いの場として活用されると思います。終わりに、学校再編計画事業に御尽力された役員の皆さん、閉校記念誌編集委員の皆様大変御苦勞様でした。感謝申し上げます。新生栗駒小学校の益々の発展と地域の皆様の御健勝を祈念し、閉校記念誌に寄せる言葉とします。

栗駒小学校の閉校に寄せて

子ども神楽保存会

会長 佐藤 俊一

平成24年度を最後に栗駒小学校は、学校再編計画に基づき閉校となります。長年地域の皆さんから親しまれ、大切にされてきた、思い出多き栗駒小学校が無くなってしまふことは、本当に寂しく思います。しかし、これも時代の変遷かと思うほかはありません。

この栗駒小学校で35年間に渡り、子供たちと共に郷土芸能の神楽をやってきたんだなあと振り返ると、自分でも信じられない思いでいっぱいです。

私は幼少の頃から神楽が好きで、秋祭りには、太鼓の音を聞くとじっとしてられなくなり、祭りの会場へ一目散に走って行ったものでした。そんな自分が神楽の指導者になるとは、夢にも思いませんでした。当時の校長先生であった佐藤吉郎先生が「栗駒小学校にも、後世に残る何かをやろう」と言って始まったのが郷土芸能の神楽「鶏舞」でした。

初めは、地元の神楽師の方をお願いして何回か練習したのですが、都合により取りやめになり、次に、佐藤吉郎先生のお知り合いの城生野神楽の先生方をお願いすることになりました。順調に練習が進み、練習の成果を全校に発表する運びとなりました。その後、小学校の「ふるさと学習」として、教育課程に位置付けられ、全校児童で取り組むようになりました。昭和55年には「栗駒小学校子ども神楽保存会」が発足し、保存会会長には私佐藤俊一、副会長には千葉洋子さんとPTA会長さんが就くという形で神楽保存会がスタートしました。

子ども神楽の活動を、1年、2年と続けていくうちに、栗駒小学校の子ども神楽が世間に知れ渡り、たくさんの出演依頼が舞い込むようになりました。今でも思い出に残るのは、東北博覧会、グリーンフェア仙台、宮城国体、町の体育館で相撲大会のアトラクションとして、土俵を囲んで50名の子供たちが鶏舞を踊ったことなど、数知れない様々なイベントに出演したことです。

しかし、栗駒小学校も閉校になり、栗駒小学校子ども神楽保存会も、栗小と共に卒業する運びとなりました。今日までの35年間、校長先生をはじめ諸先生方、会員の皆様方、地域の皆様方には、大変お世話になるとともに、ご支援とご協力を頂戴いたしましたことに、心から感謝を申し上げます。本当に長い間ありがとうございました。



歩み続けた道

子ども神楽保存会
副会長 千葉 洋子

昭和52年、初めて「神楽」がPTAバレーボール大会の反省会の席で話題になりました。何か一つ栗駒小学校に思い出に残る郷土芸能を取り入れてみたら、というお話をしてくださったのが佐藤吉郎元校長先生でした。当時PTA会長だった佐藤俊一さんが、お話を受けることにしました。

まず、自分たちが鶏舞を覚えること。次に装束の作り方、次に太鼓の叩き方。そして私は、鶏兜から着物、袴の作り方などを覚えなくてはなりません。なにせ、私は理容師でしたので苦痛の毎日でした。裁縫は全然できませんでした。栗駒に嫁いで間もなく、姑に着物を縫ってみると布とハサミを渡され、どのように始めたらよいか分かりませんでした。悩んでいるうちに、とうとう肩の部分を切ってしまう大失敗をしてしまいました。しかし、諦めず、人間死ぬ気になればどんなこともできると思い、新聞紙を何度も何度も刻み、頭の中に詰め込みました。

一番難しかったのは袴でした。裁縫を習った家、一軒一軒を回って聞き歩き続けました。そのことを聞いた、当時75歳のおばあさん佐藤ヒサ子さんが、昔女学校で習った物だと言って、袴の小さな見本を持ってきてくれました。その時の嬉しかったこと、今でも忘れることはできません。さっそくみんなで体育館に集まり、神楽一式を作り始めました。出来上がりは少しまちまちでしたが、まずもって良しとのことで発表しました。次の年からは、全部まとめて引き受け、徹夜徹夜の連続でした。それからは、各市町村から出演依頼があり、寝る暇もありませんでした。

今までいろいろな事がありました。楽しいこともありました。一番の思い出は、唐草の大きな風呂敷に沢山ご飯を包み、小中高一緒に東京都府中市に連れていったことです。それから東京都杉並区との交流会、東北博覧会、グリーンフェア仙台と楽しいことばかり続けました。

平成14年の国体の年には、博報賞を受賞させていただきました。これも皆様のご協力の賜だと思っております。その後、ゴールデンゴールズの会社から依頼され、子どもたちも参加し、いい思い出になりました。次の年も、またお呼びがかかり、佐藤会長さんとお米を持参しました。

思い出は沢山ありますが、今までこうして続けられたのも、校長先生をはじめ諸先生方、PTA会員の皆さん、そして地域の皆様、本当にご協力感謝申し上げます。有難うございました。

栗駒小学校の閉校に寄せて

社団法人 栗駒愛林会
会長 菅原 秀市

栗駒地区は、北は岩手県一ノ関市に接し、国定公園山麗の南部に位置します。地形的には、東西になる中央地帯と栗駒山を源とする清流三迫川が、栗駒ダムを経て南へ流れています。

栗駒小学校は地域の北側に位置し、小学校の北側には、源義経に関する史跡といわれている場所「判官森」があります。

この度、開校以来140年間続いた栗駒小学校が、平成25年3月で閉校となり、閉校後は、岩ヶ崎小学校、栗駒小学校、鳥矢崎小学校の三校と統合し、「新栗駒小学校」としてスタートすることになりました。

私の通っていた頃の栗駒小学校は、木造校舎で、小学校と中学校が併設してありました。母校が閉校になることは、大変悲しいことですが、いつまでも私たちの心の中に残っていることでしょう。

栗駒愛林会は、学校にお弁当を持っていけない子供や、遠足にお弁当を持っていけない子供がいた時代に、地域の有力者がこれを憂慮し、当時は木材の値段の高い時代だったので、植林をして木材を育て、それを売り、そういった子供たちを支援しようと考えたのが発足の原点だったと聞いております。

最初は、中学校のPTAが中心となって活動したそうです。当時は部分林制度で、町が国から国有林である永洞山の地上権を借用してそこに植林をし、その後伐採して販売し資金を得ていたそうです。その後、個人での運営は難しいので、社団法人栗駒愛林会を立ち上げました。長年にわたって、地域の福利厚生施設の設置並びに運営に貢献してまいりました。また、学校に対しても、毎年教育環境の整備のために貢献してまいりました。

社団法人栗駒愛林会は、栗駒小学校の閉校とともにその役目を終え、解散する運びとなります。これまで、皆様にご協力をいただきましたことを、心より御礼申し上げます。校長先生、教頭先生、その他たくさんの先生方には大変ご迷惑をおかけしました。そして、たくさんの地域の皆様のご協力、誠にありがとうございました。



私たちは忘れない

菅原 照明

大正5年に松倉と沼倉にあった学校が、村内一校ということで現在の所に栗駒尋常小学校が建立されました。その後第二次世界大戦中は栗駒国民学校となり、戦後の昭和22年頃には村立栗駒小学校、また、30年の町村合併では栗駒町立となり、平成には栗原郡十町村による町村合併で栗原市立栗駒小学校と名称を変えました。九十七年余り約百年の歴史をもつ我等の栗小が今幕を閉じようとしています。永き歴史の中で、村立から町立、市立と称号が変わり、校舎も火災で焼失したり、老朽化などにより建て替えが何度かありました。また、寺子屋風教育からしっかりした学校教育へ、戦争一色の教育、戦後、経済成長とともに英才教育、平成にはゆとり教育といろんなことがありました。しかし、その時代時代において子供たちの元気な声が校舎内外に聞こえていました。

栗駒小学校には、様々な活動でお手伝いさせていただきました。新緑の頃の田植えと秋の稲刈りは、主に高学年の子供たちの体験学習として貢献できたかと思えます。田植えの時の泥のついた輝く笑顔、稲刈りの時の収穫の喜びの笑顔が嬉しくて、毎年続けて学校に協力してまいりました。また、学校農園の整備や校庭の除草作業、冬期間の除雪作業などでは、トラクター等を使って先生方の作業のお手伝いをし、子供たちの学習環境の整備のために助力してまいりました。

平成25年3月で、栗駒小学校は無くなり大変寂しくなります。しかし、学校は無くなっても、この栗駒地域には子供たちがまだまだいます。未来を担う子供たちの成長を、これからも地域から温かく見守っていきたいと思っています。



栗駒小学校閉校と統合に想う

後藤 和男

数年前から耳にしておりました栗駒小学校の閉校そして統合、平成25年度3月迄で閉校が本決まりとなり私共にとって誠に残念で淋しいことでもあります。

これも数十年も前から少子化が進み、年々子供たちの数が減少し続けてしまい、平成24年度の児童数が41名とのこと、最後に行政と地域の話し合いの結果、閉校統合と相成った訳だと思います。時代の流れとは言え、残念なことであります。50年以上前の昔話になってしまいますが、私が栗駒小学校に入学した年は昭和25年の春と記憶しております。当時は栗駒村の頃でしたが、子供の数も多く私の同級生も二クラスあり、合わせて95名で6年間通学した訳です。当時の通学は現在とは違い、バスとか自転車通学は皆無と言っても過言ではなかった時代で、全児童、雨が降っても雪が降っても徒歩での通学でしたから、朝夕の登校下校の時間帯には子供たちの行列だった様に記憶してまます。当時は栗駒中学校と同じ敷地内に校舎が有り、中学生と小学生を合わせると700名位の大人数でした。あれから50年余り経ち、現在の児童数に減ってしまうとは想像もしてませんでした。現実是我々が育った頃の二十分の一以下になってしまったのですから本当に驚く他ありません。

振り返ってみますと、終戦後昭和20年代の混乱期が過ぎ、昭和30年代から40年代には日本の産業経済の飛躍的な発展があり、それに伴う労働力不足で誰もが経済発展の著しい東京はじめ関東方面への流動が続き、集団就職とか就職列車といった言葉が流行ったのはその頃からです。

栗駒だけでは無いと思いますが、学校を卒業すると、その家の家督となる子供だけが残りに、後は父母祖父母といった家族構成になり、徐々に徐々に過疎化に至ったのかなというのが私なりの考えであります。何かのきっかけで子供たちが増えることをお祈りし、取り止めのない文で終わりにさせていただきます。





陸上競技大会の思い出

佐々木 栄喜

とうとう来年3月で、地元の栗駒小学校が歴史を閉じるとの事で、大変寂しく思い残念でなりません。

時代の流れとはいえ過疎が進んで仕方ありません。

さて、私の一番心に残っている思い出は、小学校五年生・六年生（昭和41年・42年）の時の栗原郡陸上競技大会が頭の中に浮かびます。

当時の校舎は木造二階建てで、校庭を挟んで栗駒中学校（後の栗駒第二中学校→栗駒小学校）と向かい合っていて、校庭を共有していました。校庭は現在のプールの所から斜めに直線で何とか100メートルとれるくらいの決して広い校庭ではありませんでしたが一緒に使っていました。

その為、私たちが陸上競技大会の練習をしている時は、中学校の先輩の部活（野球・ソフトボール・バレーボール等）のボールが飛んで来たりしていましたが、怪我等もなく、練習していました。真面目に練習していたと思います。

ご指導していただいた先生、千葉順先生・太宰貞二先生・佐藤一男先生・菅原たみ子先生には大変お世話になり、北部大会、郡大会に出場し総合優勝することが出来ました。又、個人で走り幅跳びと走り高跳びで優勝することが出来ました。大会当時、他校の選手や応援に来ている先生を見ると大変強く見えて、「大丈夫かな？」と弱気になりかけたりしましたが、いざ競技が始まるとトラックの種目及びフィールドの種目共に、私たち栗駒小学校生が秀でて、優勝出来たのはいい指導者に恵まれたからと思っています。

これからは、学校再編で岩ヶ崎に移って新しい「栗駒小学校」となりますが、これからも今まで以上に新生「栗駒小学校」を見守っていきたいと思います。



栗駒小学校の皆さんへ

沼倉郵便局長 小野寺 喜久雄

私は、平成15年3月24日から、沼倉郵便局に勤務し殊に栗駒地区の皆様にお世話になっております。有難うございます。

15年の4月に入学した子供たちはもう高校生です。帰りには郵便局に立ち寄り「水を飲ませてください」と大きな声で元気に入ってきた子供たちも、私たちが目を細めてその成長を喜び大きくなっていく姿に感動を覚えます。自分自身が年を重ねて行くことの意義さえ感じさせられます。この子供たちが栗原・宮城もっと大きく日本を背負って立つ大人になることを希望しますし、いずれ私たちを支えてもらえるんだなと思っています。（ちょっとウルルン気分です）

栗駒小学校には神楽「鶏舞」があり、みんな一生懸命に練習して各所で披露しています。すばらしい伝統だと思います。これまで指導されてきた会長・副会長さん・先生方に改めて敬意を表します。

学校前に信号はありますが、事故等なければいいなと通勤途中いつも思っていました。事故は一件もなく無事経過しました。新栗駒小学校に登校する際も気をつけて！

人にはそれぞれ人生に色んな転機（人生を変えるような重大な出来事・良いこと・大げさな言い方かも？）があります。生まれてきて、小・中学入学・高校・大学等そして仕事に就くその後の生活全てに。

今回の学校の統合も栗駒小学校の皆さんにとって、その一つとなるでしょう。色んな年齢の方々・地域の人・学校（先生・友達）など、皆さんがこれから生活していく上で関わる人が、皆さんを幸せに導いてくれます。大きな希望を持って、自分自身（命）と友人達を大切に、がんばらなくてもいいから、元気を出して色んなことに挑戦してください。

最後に将来、郵便局のお客様になって沼倉郵便局に来てくれたら、最高に嬉しいです。



地域とともに歩んで来た栗駒小学校

沼倉駐在所 高橋 修

小学校が統合されるかもしれないという話は前から聞いていましたが、とうとうその日が来たかと本当にさみしい気持ちです。

3年前、仙台から赴任してきたとき、小学校の隣だからと言われて小学校を目指して来ましたが、鉄筋コンクリートをイメージしていましたのでなかなか見つかりませんでした。当時、駐在所はレトロな雰囲気でしたが、栗駒小学校は温かみのある木造で、周りも自然豊かでいい所だなと感じたことを昨日のように覚えています。

3月11日の東日本大震災の時には、パトロールに出ている、急いで戻り、妻がいないので探したら、ちゃっかり小学校の校庭に避難していました。後で聞いたら、先生方にお菓子までいただいて、本当にお世話になりました。みんなといることでとても心強かったと言っていました。また、タスキリレーの時は、児童の皆さんが真剣にタスキをつなぎ、沿道で多くの人たちが声援を送っていました。地域みんなで子どもたちを見守ることは、子どもたちが事故や犯罪の被害に遭わないためにも大事なことです。

ゴールが小学校ということもあり、婦人部の皆様による豚汁やおにぎりをおいしく食べたこと、ビンゴで大いに盛り上がったこと、沼倉管内にこんなに人がいたのかと驚くくらい、たくさんの老若男女が集まり楽しいひと時を過ごしました。このように、小学校は地域の中心であったのですが、たとえば、栗駒小学校が無くなっても、いつまでもみんなが集まる場所であってほしいと思います。

最後に、沼倉駐在所の開所式の際に、「子ども神楽」を舞っていただき本当にありがとうございました。署員も来賓の方々も感心していました。子ども神楽のおかげで、華やかで厳かな式典になったと自負しております。これも地域の皆様の協力の賜物と感謝しております。

登下校の時、元気に挨拶をされて、私自身子どもたちにたいへん癒されました。岩ヶ崎小学校に行っても、元気な挨拶と明るく素直な栗駒小学校精神で、友達をたくさんつくって、楽しい学校生活を送って下さい。

感謝と寂しさ 思い出の中の三つのこと

小野寺 邦義

消え去る栗駒小学校での思い出の中で忘れられない二つのことがある。

一つ目は、学びの中での体験である。四年生の時、校舎は大正7年に沼倉小学校と松倉小学校が統合してできた平屋建ての建物で、校舎の前に金網で囲まれた円柱状の鳥小屋があった。その中にトンビやフクロウが飼われていた。私たちは当番として、鳥たちのために餌取りをしなくてはならなかった。校庭の前の田んぼでバッタやイナゴ、そしてカエルやヘビ等を捕まえて鳥たちに与えた。特に、S君はヘビ捕りの名人でした。ヘビがどんなところにいるかを知っていて、ヘビがいるところに近づくと手で合図をして、足をゆっくりと静かに一步一步進め、一瞬のうちにヘビを手に捕まえるのである。くるくるとまわして弱ってくると今度は首に巻き付け、急いで走って鳥小屋に戻ると、そのヘビを鳥小屋に投げ込むのである。瞬間に、トンビがヘビに襲いかかり格闘が始まるのである。ヘビはトンビに対し口をあけて足に噛みつこうとするが、トンビはそれをうまくかわして、逆に両足でヘビの頭部に近い部分を捕まえ、鋭い嘴でヘビの目を攻撃するのである。やがて弱ったヘビをトンビは頭部の方からかみ切り、肉片を少しずつ口に入れて食べるのである。このような学びを与えてくれた今は亡きS君と鳥小屋の鳥たちに感謝したい。

二つ目は、五年生の時、木造二階建ての新校舎が完成した落成式で、私の隣の家の方で、栗駒小学校の校歌を作詞した小野寺敬一さんから校歌についてお話を聞いたことがある。「・・・常葉の松の細やかな判官森の下にして・・・」という文句である。松は永遠に緑に保ち続けるという意味があるけれども、源義経の母親が常盤であり、その常盤に抱かれて義経は判官森に永遠に眠り続けるという意味で作詞したというのである。そういう所の下に栗駒小学校があるということ、常に心に抱いて学んでほしいとお話された。私は教員として多くの学校を経験しましたが、栗駒小学校の校歌くらい心に深く感動を与えたものはありませんでした。もちろん自分が学んだ小学校の校歌ということもありますが、歴史的に名高く分かりやすく、親しみやすい校歌として、私はどこの学校にも負けない校歌だと誇っている。この校歌が歌われなくなることは大変寂しいことで、新しい小学校になっても旧栗駒小学校の校歌のように、心に深く感動を与えられるものであってほしいと願うものである。

以上、私の心の中には、栗駒小学校で学んだこと、体験したこと、そして感動的な校歌のすばらしさが昨日のように思われる。



思い出は今も

菅原 和広

歴史や思い出がたくさん詰まった母校、栗駒小学校も時代の波にのまれ閉校するのは寂しい事です。私は昭和47年度の卒業生です。

自宅前が学校のため、小さい頃からよく学校で遊んでいました。校門横の幼稚園、大きな桜の木、木造の優雅な二階建校舎。白線の引いた廊下と床のワックスのニオイ。暗幕の音楽室ではベートーベンと目が合い、ひんやりと薄暗くちょっと恐かった理科室。ガリバンインクのニオイの職員室。3時間目あたりからおいしそうなニオイの給食室。当時を思い出おせばあれもこれもと走馬灯のように頭を巡る出来事がたくさんあります。

冬は石炭のダルマストーブ。後にコークスになりましたが、教室の中央にあり、その上に置かれたスチール製の容器でよく牛乳びんをあたためました。体育館わきにあった25mプールは、ビニール製だったのを覚えています。

栗小は私たちの学年から一クラスの始まりでした。上級生の二クラスの教室が羨ましく思えた時もありましたが、一クラスのため、まとまりはありました。運動会や学芸会、遠足などの現在の学校行事について、仕事柄いろいろな話を聞きますが、児童数が少なく何かと大変だと思っていました。ここ最近の運動会での様子を見て、私たちの頃は今の何倍もの児童がいたのにと年々寂しい思いを感じていました。当時の運動会といえば栗駒地区の一大イベントのようなところがあり、校庭の周りに隙間のないくらいの児童の父母、祖父母でいっぱいだったのを覚えています。お昼は近所の人たちと家族全員で弁当をひろげる光景を思い出します。地区対抗リレーになると大人も児童も大興奮で、校庭中に響きわたる大歓声でした。

そんな思い出深い校舎も、私が中学一年の冬に火事になり、私たちの学年が木造二階建校舎最後の卒業生だったと思います。

今でも口ずさむ校歌の中にある、栗小生なら必ず登って遊んだ判官森。今では昔とだいぶ変わったけどいつも判官森には児童の声が響いていました。

もうすぐ最後の運動会です。

「♪平和の空に おおらかな 栗駒山の春姿
～♪」

判官森に響く最後の校歌です。

安定して流れていく日常の風景と共に、穏やかに力強くいつもそこにあった栗駒小学校。

ありがとう、そしておつかれさまでした。



昭和43年頃 運動会



昭和52年 航空写真

昭和45年 卒業写真



栗駒小学校に感謝

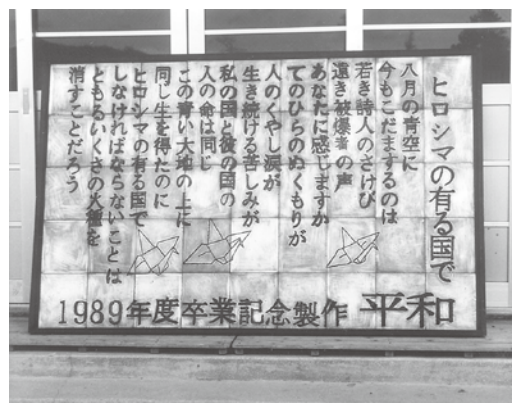
菅原 幸司

私が栗駒小学校を卒業して、40年以上になります。当時の校舎は木造の古い校舎でした。ぎしぎしと音を鳴らしながら歩いたこともとても懐かしく思い出されます。その当時の暖房といえば、教室の真ん中に煙突のついただるまストーブがあり、そのストーブの周りには、家から持ってきた弁当箱を置いて、お昼には温かくして食べたものでした。それから、校舎は二階造りのため、上のクラスで、牛乳の入ったやかんがひっくり返ったときには、牛乳が天井からぼたぼたとおちてきて大きな騒ぎとなり、昼食どころではなくなる、ということがたびたびありました。校舎自体はとても古かったのですが、コンクリート造りにはない温もりのある校舎でした。

そして、我が子三人が入学してからは、運動会に学芸会、相撲大会、水泳大会、そして陸上大会など欠かすことなく応援にいきました。子どもたちの一生懸命取り組む姿はいまでも忘れることはできません。それは、時には優しく、時には厳しい先生方の熱心な指導があったからこそのものだと思います。先生方や地域の皆様、保護者の方々のご協力には本当に感謝しています。私自身、栗駒小学校で多くのことを学び、成長させていただくことができました。

また、校舎は違えど、親子ともに同じ学校で学び、同じ校歌を歌うことができたことをとてもうれしく思います。栗駒小学校がなくなってしまうことは寂しい限りですが、時代の移り変わりとともに変化するのは仕方のないことです。

これまで、私たちを支え続けた栗駒小学校に感謝するとともに、これからたくさん子どもたちが新しい学舎でさまざまな経験をし成長できることを期待しています。

**閉校に寄せて**

菅原 シゲル

栗駒小学校が閉校になるということが、私の長い人生の中に組み入れられることには、今でも信じられないほどです。70年も前に入学した当時の学校の姿が鮮明に思い出され、また、子供たちが入学してPTAとして携わった日々も忘れることの出来ないものです。

その後、図書の整理とタイプの仕事でお世話になりましたが、図書室に来る子供たちに「図書のおばちゃん」と呼ばれてくれました。私の入学時から現在まで、校舎は建て替え、火災等で三度も変わりましたが、姿が変わっても栗駒小学校は、私の中では不変でいとおしいものです。校舎をかこむ桜の美しかったこと、みんなで道路に並んで出征兵士を送ったこと、判官森や弁慶森に登ったこと、三年の時の終戦等、その前後の教育現場の混乱等は、大人になってから大変だったろうと推しはかれても、当時は、学校に行くことが楽しく、物資の不足も食物の貧しさもかき消えるほどでした。

図書の整理を手伝うようになって思ったことは、自分の子供時代にはなかなか読物も手に入らず、町に出るのも歩いて年に数回という頃でしたから、こんな立派な本を自由に読めて、今の子供は幸せだなあとつくづく感じたものでした。ちなみに私の幼年時の読物は、絵本一冊（舌切りすずめ）と叔父が残した日本文学全集と螢雪時代（受験誌）位で、訳もわからず読める字をひろっていたものです。娘が四年の時、学校が火災にあい県内の書店の方々からたくさんの本の見舞いがとどき、ほんとうにうれしく感謝しました。また、PTAが先にたち、卒業生や村民の協力を得て、校旗をつくったことも忘れられません。栗駒小学校の給食も、当時の教育委員やPTAの働きで、他校に先がけて取り入れられて始まり、子供の体力の向上に役立ったことは大きな成果でした。現金収入の少ない村では、給食費と秋の収穫後に米で支払う様にして、父兄の協力を得て現在に至っていると思います。今も内外から好評の神楽の課外活動は、私たちも楽しみの一つとなりました。子供たちの元気に舞う姿に勇気づけられます。我が校の鶏舞が一番とっておりましたが、閉校になったらどうなるかと心配しております。なにとはともあれ、私の中の栗駒小学校は、判官森の下にいつまでも息づいている様な気がします。



栗駒小学校の思い出

一区 佐藤 隆子

私は栗駒で生まれ栗駒の土地で育ちました。

小学校の思い出の作文を書いてくださいと頼まれた時は、ちょっとためらいを感じました。思えば何十年も前の思い出なので、すぐには思いつきませんでした。でも時間をかけて頭で整理をしているうちに、いろんな思い出がうかんできましたが、あまりペンには縁がないので緊張しました。

私たちの時代は戦後の子供たちなので、友達も多いし、また兄弟たちも多かったので、農家の仕事が忙しくなると、妹や弟をおぶって学校に通ってくる友達がいっぱいいました。私もそのひとりで、妹を連れて家から弁当を二個も持たされて、おかずは梅ぼし一品だけでした。暮しのいい家では、梅と卵焼きが入っていて、それを妹が見て「姉ちゃん、あれを食べたい」とせがまれた時もありました。勉強の時間には、いつ家に帰りたいと言われるか、はらはらしながら過したこともありました。六年生の時に陸上の選手に選ばれた時は、本当にうれしかったです。コーチの先生が厳しいのには、耐えがたいものがありました。でもその厳しさがあって3位になり、あの時の感動は今でも心に焼き付いています。時々、あの時のコーチの先生はどうしているかなーと思い出す時もあります。でも、私たちが中学校の時に災害に遭い、二校とも同時になくなり、その時は本当にさびしかったです。今、目をつぶってみると、小学校の二階に上ると栗駒山が見え、幾つもの山々に囲まれて凜としているその姿に存在感があったのを思い出します。いろいろなことがあると山を見ているうちに気持ちが落ち着くこともしばしばありました。私たちが幼いころは、親にしてみれば厳しい時代だったかもしれない、それでもその中で育ててくれたことにはいつも心の中で感謝をしています。

今の小学校の校舎はまだまだ若い校舎です。これから何かと活躍されることを心から願っています。



小学校時代を振り返って

二区区長 蘇武 要悦

私は、栗駒小学校を卒業してから55年も過ぎ、記憶も薄れてきていますが、この度の栗駒小学校の閉校に伴い、別れを惜しみながら寄稿いたします。

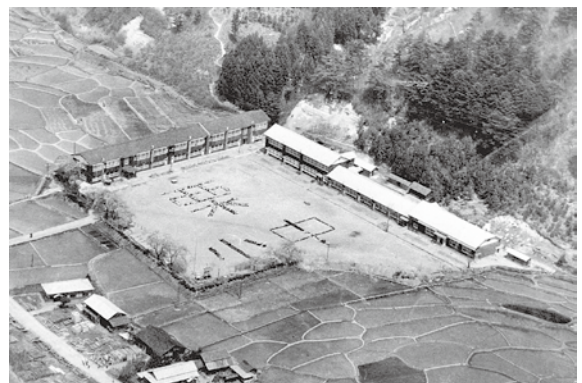
私は自然に恵まれたこの地に生まれ育ち、大人になってからは、明峰栗駒山国有林の山づくりに40年程従事し、退職を迎え幸せを感じながら毎日を送っている一人です。

栗駒小学校は、我が家から南東に約2キロメートルの位置にあり、県道(砂利道)を皆で騒ぎながら時には麦畑の中を、冬になると当時積雪が多く一面が平坦になり、畑や田んぼの中を真直ぐ歩き、30分～40分位で校門に入ると校舎の前では、二ノ宮金次郎が迎えてくれます。

間もなく小使いさんの鐘が鳴り、慌てて席に着いた事等度々でした。当時、石盤と硬いチョークを使って勉強した事等が思い出として残っています。

5月には田植え休みがあり、三・四年生頃から代掻きの鼻とり(馬の口元に2メートル位の竹ざおを付けて誘導する仕事)苗運び等よく手伝ったものです。

夏になると、学校にプールが無く三迫川の学校から指定された場所での水遊び、水泳は、きれいな水の中で楽しむ事ができ、又、オイカワやカジカ等の川魚取りも楽しめました。秋になるとイナゴ取りや落穂拾い、秋が深まると焚き木集め、冬はダルマストーブで暖をとり、ストーブの上で餅を焼いて食べた事等思い出されます。小学校時代の懐かしい思い出は、これからも私の心に生き続けると思います。



**栗駒小学校閉校によせて**

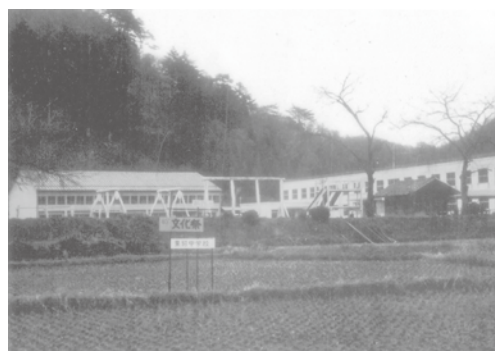
二区 芳賀 英一

昭和36年4月春入学式、今思い起こすとランドセルを背負って学校へ行ったのだけは記憶にある。

入学生67名だった。当時は木造二階の校舎、一階は校舎に向かって左側から校長室・職員室・玄関と昇降口・階段があって階段下が放送室・次からが普通教室（一年～三年生まで）。二階は右から音楽室・左に向かって四年～六年生の教室でいっぱいだった。中学校が隣り合わせにあり、小学生が遊ぶスペースはごく限られた部分しかなかったから、いつも裏山で遊んだ記憶がある。裏山とは、判官森のことだ。九郎判官義経の墓と言われていたことは覚えている。そして、向かいの森が、弁慶森と言われていた。中学生は基礎トレーニングだと言って、よく弁慶森に走って登っていったのが思い起こされる。小学校三年生の頃かと思われるが、中学校が火事にあった。朝、登校すると燃えた跡がくすぶっていた。

そして、中学校は小学校と向かい合わせるように新築された。体育館は、私が六年生の時に焼けた中学校の跡地に新築された。小学校生のころは現在とは違い、時間がゆっくりと過ぎていったように思える。

そして、豊かな自然の中で自由奔放に遊んでいた記憶しか残っていない。良き古き時代とよく言われるが、正にそのとおりであった。その思い出多き学校が来年で閉校になることは、まことに残念ではあるが、ここの地域の人たちには、心のよりどころとして永遠に語りつがれていくことと思います。

**在学していたことの思い出**

三区区長 菅原 一

私は昭和20年4月戦時下の中で栗駒小学校一年生に入学しました。

その20年8月に終戦と正に激動の時代でありました。

小学校時代は食糧難のため毎日開墾の日々でありました。

秋には、学校の裏山からストーブの薪をあつめて、学校まで薪を背負ってきたことが思い出されます。

冬になると私達の時代は、ゴム長靴などはなくて稲ワラで作った「シマゴワラジ」とか「ズンバイ」といったワラで作った長靴のような物でした。

雪でぬれて冷たいので、学校にいくと下校までストーブの周りに乾かした記憶があります。

ストーブの燃料に薪と亜炭もありました。

亜炭鉱業として、文字地区に岩倉炭鉱・湯場沢炭鉱・戸井沢炭鉱があったようです。

そしてまた、私達一年生の時鷲沢に細倉鉱山があるために、戦闘機の「B29」という戦闘機が飛んでくるようになった記憶があります。学校では、戦闘機が飛んできたなら大きな木の下とか田圃の土手に体を隠すよう指導されたように思います。

それから、来年栗駒小学校が閉校になるので思いだされるのは、昭和25年に栗駒玉山上に「ダム」が作られるので、栗駒小学校玉山分校が閉校になるため、私達小学校五年生の時だと思いますが、玉山分校の五年生の児童男子6名女子2名が転校してきた記憶が有ります。

玉山の児童さんは徒歩で通学されたと思いますが、大変だったと思います。

玉山ダムは昭和25年に着手して以来実に12年間かかり昭和36年に完成といわれております。





ずっと心に…

三区 佐藤 香菜子

私は、平成16年度卒業生です。私が在学していた頃の児童数は120～85人程度でした。少ない児童数でしたが、全校児童みんなが顔見知りで、学年など関係なく仲良しで、高学年は低学年のめんどろをしっかりと見ていて、みんなが楽しく仲間意識の強い学校だったと思います。

まずは、運動会。チーム全学年で頑張った応援合戦は、強く印象に残っており、一年のうちで初めて全学年が心を一つにしたものだったのではないのでしょうか。徒競走やムカデリレーなんかも白熱しましたね。そして栗駒小学校といえば、お神楽。一年生は初めてで緊張しました。

サマーキャンプは、いつもなら来ることのない夜の学校にテントを張ってお泊まり。ドキドキワクワクで夜を迎えバーベキューやキャンプファイヤーをしました。夜中に酔っぱらった父が、おばけに間違われて騒がれたのは、今でも笑ってしまう思い出です。

そして私が六年生の時に郡の陸上大会で女子リレーで出場し、優勝したことは、今でも誇れる栄光です。このことがあったから私は、打ち込めるものを見つけ、大学生になった今でも陸上を続けています。

秋には、おじいちゃんおばあちゃんを招いて芋煮会をしたのも、思い出に残っています。笑顔で「おいしい。おいしい。」と言って食べてくれたのが、とてもうれしかったです。

年末には、神楽納会がありました。六年生にとって最後の舞い。六年間の集大成を見せる時でもあります。これからも後輩たちに伝えていってほしい伝統なので、六年間で一番気持ちを込め、精一杯踊りました。

まだまだ、書ききれない程の思い出がつまっている栗駒小学校。みんなと走り回り騒ぎ、楽しいことも辛いことも共にした栗駒小学校。私たちのことを育て、成長させてくれた栗駒小学校。

大好きな栗駒小学校がなくなってしまうのは、とても悲しいことではありますが、ずっとずっと私たちの心に、思い出に、記憶に残ることでしょう。

今まで、ありがとうございました。



世界谷地からの栗駒山



栗駒小学校（国民学校）の思い出

三区 千葉 信一郎

私は昭和10年4月栗駒尋常高等小学校に入学し、同18年栗駒国民学校（同16年改称）高等科二年を卒業した。

入学児童88人、かつてない大勢ということで、初めて赤白の二つの組編成となった。でも三年生の途中で担任の転職から一教室に詰められ、てんやわんやの学年と化したことは忘れられない。

昭和12年12月（三年生）、栗駒村全域に初めて電気が通じた。それまではランプ生活だったので、夜は炉端の火を頼って国語の本など朗読していた。

学校での勉強として最も印象にあるのは、東北人は「ずうずう弁」で「し」と「す」の発音が悪いということから、時の佐竹 馨校長先生が先頭になって、その発音練習と九九の暗誦を毎朝全校一斉にさせられたことである。

通電により、家庭には徐々にラジオが普及し、学校にも拡声器が入り、朝会でのラジオ体操や、運動会では行進曲に合わせて入場行進等やっ文明の利器に浴した。

同年7月、日中戦争が始まり次第に拡大、戦地に赴く応召兵士の壮行会が校庭で行われ、児童も参列させられ軍国主義教育の時代になった。又、戦死者の英霊が帰郷すると今度は「村葬」が学校を斎場に挙行された。講堂がなかったため、その都度四教室の仕切りをとり除き対応し、高学年は参列させられた。

銃後の農家は、老人や婦女子が食糧増産の担い手となり、田植の時期には農繁休業といって二週間学校は休み、学年相応に子守り、代かきの鼻取、苗運び、田植え等早朝から夕方暗くなるまで手伝った。

通学は勿論徒歩。遠い人は有に3kmはあった。特に玉山からの友は五年生から本校通学となり、冬の間は途中苗圃あたりから松明を灯して川台の山道を家路に急いだという。

楽しかった遠足、一年生は西山の堤へ、二年生は苗圃・・・特製の弁当がうれしかった。六年生

は今は一ノ関市の巖美溪、朝早く学校を出発、山田、自鏡山経由で往復30kmはあったろう。よくまあ歩いたものである。橋の上で「郭公爺さん」の鳴き声を聞いたことも鮮明である。

思い出は尽きないが、平和な文化国家の今日からは想像すら出来ないことばかりである。「欲しがりません勝つまでは、贅沢は敵だ」を合言葉に耐え忍んだ毎日だった。しかし誰もがそうだったので、苦しいとも不幸なことも思わなかった。過ぎてしまえば、なつかしい思い出である。今は昔の話である。しかし戦争だけは絶対許せない。してはならない。



栗駒小学校の思い出

三区 菅原 昌人

私が栗駒小学校を卒業してもう38年たちます。小学生時代の思い出は、正門は桜の木が二本立った門で、校舎は、今の木造でなく、白い鉄筋の二階建の学校でした。校舎の横には、青い屋根の体育館、となりに25メートルのプール、横に公園でした。

そんな学生生活で、児童数も少なく、各学年一クラスずつ十数人の学校で、通学も部落ごとに集団登校してました。高学年になると自転車を通うことができ良かったです。

授業が終わると、まっすぐ帰らないで、友だちと体育館や校庭などで遅くまで遊んでいてよく先生に怒られたこともしばしばありました。

6年間、通った栗駒小学校が閉校になるとは、とても寂しいです。楽しく学び、通った小学校、ありがとうございます。

140年間の歴史、ありがとうございました。





栗駒小学校時代の思い出

四区 菅原 壽

この度、栗駒小学校の閉校記念事業である、閉校記念事業誌発行にあたり五十有余年の年月を思い出しながらペンをとらせて頂きます。

「平和の空に、おおらかな、栗駒山の春姿・・・」

地元・松倉の小野寺敬一氏作詞の校歌と共に、私は昭和26年栗小の門をくぐりました。私共は二学級で確か25名は入学したと思います。

学校の登下校はもちろん歩いての時代でした。それも砂利道で、雨が降れば背中に「すっぱね」をあげて・・・。中学校とは隣り合わせだったので、講堂（今は体育館とよぶ）を利用する時は小学校舎より、屋根付の栈橋を渡って中学校の廊下を通り、集会・体育・学芸会等を実施しました。夏になると、プールはありませんので三迫川を利用し、秋になると「イナゴとり」「落穂拾い」をしたものです。確かお金にして、学校の教材を買ったと記憶にあります。判官森では、現在の児童たちと同じように上り下り走りまわったものです。

私の妻、子供2人、孫2人も閉校ということで大変残念がっています。各諸先生方の顔、思い出が沢山、心の中にあります。

愛林会も解散となりますが、我々の時代は杉苗等の植林と刈払は児童たちでということで、永洞山に遠足みたいな言葉で山に行き仕事をしました。

栗駒小学校で学んだ事、体験で強い精神力が培われたと思っています。現在三丁行政区長の仕事をすることになり、栗小より入学式・運動会・かきつばた七夕祭・学芸会・卒業式等の行事に招待され、少人数の児童たちが一生懸命頑張っている姿を見て感動いたしました。

私も栗駒小学校があったからこそ、今の自分があったんだと、痛感しておりますし、人生決して忘れることは出来ないだろうと思います。

大変お世話様でした。

ありがとう 栗駒小学校

四区 菅原 則彦

栗小に入学すると、いつも近くのお姉さんの家に行って一緒に連れて行ってもらっていた。通学路は未舗装で車が通ると土ぼこりが舞い、雨が降ると車で泥水が飛ばされた。学校は木造校舎で、如何にも風雪に耐えたという感じの学校だった。当時標本室みたいな部屋があり、恐竜の骨と卵を見るのが好きだった。冬にはダルマストーブ（コークスを燃やしていた）の上で牛乳を温めて飲み、その牛乳の蓋を使ってマジックで黒く塗りオセロをしたりして遊んだ。放課後は家庭で、野球やさかなっこ（陣取り）なんかを上級生や下級生としたなあ。いつも校庭いっぱい使って、暗くなるまで遊んでいた思い出がある。プールは、青いビニール張りでかなり塩酸臭かった。昭和49年、五年生だった。天気は良かったが、雪が多く膝くらいまであった。おたふく風邪がはやり、私の学年は学年閉鎖中だった。白昼サイレンが聞こえ、北の方から黒い煙が上がり、栗駒小学校が火災となり全焼した。金丁橋まで行き学校のほうを眺めた。小学校に行ったら何もなくなっていて、とても悲しかったのをおぼろげながら記憶している。

自身の卒業から20余年、今度わが子3人13年間も栗駒小学校にお世話になることとなった。親というもの不思議なもので、運動会、学芸会等々我を忘れてわが子を応援してしまう。また、あろうことかPTA会長もやることにもなった。親の立場、学校の問題といろいろ勉強させてもらった。一番は、なんととっても降って湧いた再編問題。揉めに揉めた。栗駒小学校が無くなるとなれば当然だった。誰だって学校が無くなることに賛成する人はいないはずである。しかし現実を突き付けられ賛否両論。学校が無くなることによる地域の衰退、児童の減少、複式学級、先取りして他校に通学等どれもこれもとても大事な問題だ。すべては子どもたちの事を思ってだったと思う。PTAとしてどうするか、判断を求められた。対応を協議、市当局の説明、話し合い、採決。結果は合併を受け入れることにした。栗駒小学校はなくなってしまうかもしれないが、いつも子どもたちの元気な声が栗駒山にこだまするように願ってやまない。

平和の空に大らかな栗駒山の春姿・・・今更ながら本当に素晴らしい校歌だと思う。いつまでも口ずさんでいきたいと思う。



戦争の思い出

四区 小野寺 博

私達、同級生86名、将来を夢見て胸をふくらませて、栗駒尋常小学校に入学したのは、昭和15年4月でした。翌16年には大東亜戦争に突入。学校名も栗駒国民学校と名称が変わり、教育方針も軍事教育一色でした。四年生ころになると戦争が厳しくなり、勉強はおろそかになり、食糧難が続き、私たちも小さな体で重い唐鍬をかついで、西山へ開墾「さつまいも」を植えたり、落穂拾い、山田へ行き「どんぐり」取り、山から落葉を集めてかばんへ入れて堆肥を作ったり、永洞へ行き炭焼きしたり、山から薪背負い、又赤麻・道芝・ちから芝・桑の皮を取って納め軍服の布を作るとか、松の根を掘り「松根油」を作り飛行機の燃料にするとか。あるいは出征兵士の家へ勤労奉仕等の作業の連日でした。

戦争がいよいよ厳しくなり、細倉鉦山が空襲に遭い、学校での授業が出来なくなり、各区毎に私たちは、八幡神社での勉強でしたが、今日ラジオで、天皇陛下の放送があるから家へ帰りなさい。

家へ帰り家族とラジオを聞きました。

父は直立不動の姿勢で泣いていました。私はなんの事か、わかりませんでした。日本が負けたと知らされました。あんなに頑張ったのに、私も一緒に泣きました。

終戦を迎え軍国教育が変わり、戦争関連の教科書の字句は墨で塗りつぶし、本が真黒くなり授業が出来ませんでした。

進駐軍が学校を視察に来て、廊下の上のガラスから見おろして通る姿を見ておどろきました。

学校名も栗駒尋常高等小学校と改称されましたが、新しい教科書は紙質が悪く「ガサチリ」の様な紙で、印刷した字が読めない教科書での勉強でした。

この様な厳しい小学校六年間、食料も物資もお金も無い、苦難な時代を耐えて来た体験が、終戦からの復興の力になり、今元気に生きてる基だとつくづく思います。

今は平和な世になり、当時の何も無かった時代を思い、二度と戦争の無い平和な世界が続きます事を念じつつ、学校時代の悲惨な思い出をつづらせていただきました。

古きをなつかしみつゝ小学校閉校に当り

五区区長 菅原 清幸

詩人 白鳥省吾先生は

生れ故郷の栗駒山は 富士の山よりなつかしや と歌いました。

環境もまた秀峰栗駒山を背景とする、地域の歴史や地形・気候、自分の生活や人情・風俗などなど密接なつながりをもつ独特な地域的特色を味わい面白さをかもし出している。

御駒様の御神輿 栗駒御駒様で巡幸、三迫川の清流にて御浜入り

判官森 弁慶森

田植え歌・たんぶつ歌

田植えをしながら、草取りをしながら、年寄りたちから聞いて歌った。

昭和33年、栗駒愛好会を沼倉木鉢の千葉光男氏により発起され愛林運動を推進した。

児童生徒が少なくなったとはいえ、やむを得ないなあと思いつつ小学校が閉校となると残念でなりません。顧みる時、自分は昭和19年戦争時入学、家の庭の木の下で、細倉鉦山に爆撃する飛行機からの爆弾が落ちるのを今でも眼にうつります。農家でありながら食う物が不足の時、学校から歩いて帰る道の途中「桑ご取ったり、ボタンキョウを取ったり、栗拾いしたりシヤゴミもおいしかったなあ」おこられたり、よろこんだりして帰った。学校ではずうっと下の妹だろうか、背負っておもりしながらの授業。そんな児童がいた。又、学校の作業があり、冬のストーブ用として薪を背負って集める作業があった。二宮金次郎のお話があったり、上級になれば家では畑の仕事や田んぼの除草、機押し等があったが、やっぱり小学校は思い出がいっぱい。その後学校が火災に遭い、新校舎が建築され復旧した。運動会は独自で行われていたが、児童数や住民が少なくなるにつれ合同で行われるようになった。そこに合併された市協働推進により栗駒コミュニティ推進協議会が設立され第四回を迎えるに至り、今年を最後に合同運動会となっている。

平成20年6月14日には岩手宮城内陸地震、平成23年3月11日には東日本大震災と未曾有の災害が発生し、復旧につとめている傍ら、この度運動会・敬老会・ふれあいまつりが行われる運びとなっています。これも小学校との兼ね合いです。統合されたのちも地区民による事業を展開します。原発セシウムを心配し、台風被害がないよう祈りながら、先人たちが培われた地域性環境の相違などを取り入れ邁進してまいります。終わりに栗駒小学校閉校に当たり、今後の益々の発展と皆様のご健勝をご祈念申し上げます。



閉校にあたって

五区 菅原 永子

判官森を背に、秀峰栗駒山を望む木造二階建ての栗駒小学校は、地域の中心的な存在で、地区行事の場として、そして子どもたちとの交流の場として重要な役割を果たしてきた学校です。

小学校を卒業してあまりにも年月が経ち、記憶もたどたどしいのですが、当時の学校生活を思い起こしてみました。

私は昭和38年4月の入学です。教室では二人掛けの木製机を使用していましたので隣に座る友達がどんな子かドキドキしたものです。廊下は長くて天井が高く、「廊下は走らない」の掲示も無視、つい走って注意されたことを思い出します。教室の外には広いテラスがあり、休憩時間ともなると、教室から毬や跳び縄、ゴム等を持ち出し、歌に合わせて突いたり跳ねたりと、とても賑やかな光景でした。今では「昔の遊び」になりますが、友達とのコミュニケーションづくりや社会性はこんな学校生活の場から身についたのだと思います。

お昼の給食は自校給食で、温かくおいしくいつも楽しみにしていました。当時はコンビニ等はなく、いつでも食べ物が手に入る時代ではなかったのが、好き嫌い等言われず、何でも食べて毎日完食していました。今健康でいられるのは栄養バランスの良い給食を作っていた担当のおばさんたちのお陰であり感謝しています。

高学年になると係の仕事や行事参加等で思い出も多く、係活動での一番人気は「購買係」で、倍率が高くなかなか係になれませんでした。六年生の時に図書係になり、担当の先生と若柳小学校まで行って本の背表紙の修復を学んで来たことがありました。当時の記憶を思い出し、子どもの絵本や図鑑等を時々直すことがあります。また、運動会では鼓笛隊があり、中・高学年合わせて150人位の大行列で披露しました。楽器が苦手だった私は放課後残って特訓し、周囲に迷惑をかけながらもなんとか演奏ができました。行進しながらの演奏は不思議と心地良く、自分がこの一員であることに嬉しさを感じていました。

校舎裏の判官森に幾度となく登り、栗駒山を眺めながら小学校生活を送ることができたことは一番の思い出であります。

卒業後、縁があって、現在の校舎で仕事できたことは卒業生としてこの上ない幸せでありました。今後、学校は閉校となりますが、子どもたち、PTAの皆様、そして地域の皆様、みんなで新たな栗駒小学校の歴史を刻んでいって欲しいと願っております。

栗駒小学校6年間の思い出

五区 菅原 洋

栗駒小学校を卒業したのが平成5年3月で数えるともうそんなに時がたつのかと思います。今の校舎が建つ少し前に卒業したので、今の校舎や体育館、プールなどにはあまり入ったことがありません。私たちが通学していた頃とは、校舎や体育館などの場所がまったく違いますが、今でもどの場所に何があったのか、はっきりと思い出せます。それだけ栗駒小学校で過ごした6年間は思い出深い日々でした。

栗駒小学校に入学して初めての行事は入学式で、同級生は栗駒幼稚園から一緒なのに、私はなぜかすごく緊張していたのを今でも思い出します。一年生の時は全てが初めてで、運動会や遠足、プール開き、秋祭りや学芸会、校内マラソン大会などの学校行事、それと神楽の練習も一年生からでした。一年生の時の行事は、上級生の人たちに大変お世話になったと思います。神楽の練習は最上級生の六年生に優しく丁寧に教えていただきました。神楽の練習は、夏休みに暑い体育館でもやりました。夏休みには、朝はラジオ体操、子ども会の行事では、みんなで海水浴に行ったりバーベキューなどもやりました。二年生になると大分学校生活にもなれて、休み時間や放課後に友達と時間を忘れるくらい体育館や校庭などでいろいろな遊びをしました。三年生では、北部水泳大会に出場させていただきました。初めての大会で、前日からすごく緊張したのを思い出します。三年男子25m自由形で、結果は3位で初めてメダルをもらい、すごく緊張したけど、それ以上にうれしかったのを思い出します。四年生以上になると、学校行事以外にも当時の栗駒町や栗原郡の水泳大会や陸上大会、相撲大会などの行事が多くなっていきました。五年生では、花山少年自然の家での登山や自分たちで作ったカレーなどの食事、そして夜にやったキャンプファイヤーなどがいい思い出です。六年生では修学旅行で行った福島、サマーツアーで行った志津川など、六年生の時はいろいろな行事や大会などで一年が早く感じました。

まだまだ書ききれない思い出が沢山あります。栗駒小学校の閉校が決まったのはとても残念ですが、あの場所での6年間の思い出は楽しい事や辛い事、嬉しい事などもっといろいろな事もありましたが、とても大切な6年間でした。





栗駒小学校閉校に寄せて

五区 菅原 憲

私は昭和36年度卒業生です。秀峰栗駒山を仰ぎ、広い校庭に75人の同級生と過ごした日々を回想しながら過ごしてきました。通りすがりに響く栗駒小学校の子どもたちの声は、栗駒地区の未来を担う子どもたちであり、私たちの幼き日の自分の姿と重なる空間でもありました。

私の子どもが入園。PTA会長をおおせつかりました。小学校に入学して私も栗駒小学校のPTA新会員となり、いろいろな行事に関わるようになりました。長男が三年生の時、小学校の体育の公開研究発表が開催されることとなり連日の会議に参加しました。判官森に「どんぐりコース」を造成することになりました。PTA会員の総力を結集して完成させました。PTAの力が、来賓や参加者に評価されて会員一同で喜び合いました。その後、次男が卒業する間幾度も台風等で道が崩落し、地域の方々にも協力をいただき発電機、岩を削る機械等を提供していただきました。「子どもたちのために」「学校のために」と、熱い思いでやり遂げることができたと感じています。また、子どもたちの体力作りへ貢献できたことは感慨深いことでもあります。どんぐりコース沿いに咲き乱れる草花、実をつける樹木、小動物そして野鳥が多く生息していて、生きた理科の教材になると共に情操教育に大いに役立ち、豊かな感性を培うことができたかと確信しています。

栗駒小学校と言えば「子ども神楽」です。宮城県教育委員会のふるさと教育が推進され、子ども神楽を取り入れることとなりました。連日のようにテレビ放映や新聞社の取材がありました。栗駒小学校の名前を県内外に知ってもらうこととなりました。当時遠征しては、礼儀の良さや踊る美しさを評価され栗駒小学校の名を広めてきました。遠征の度、神楽の会長さんに同行し、着付け等のお世話をしました。思い出深いのは東北博覧会の大舞台で披露したことです。子どもたちの大きな動きや全員の息が合った動きはとても見事でした。PTA会長として通算6年間の長き期間まだまだ語り尽くせないことが沢山あります。

地域の皆様、先生方や会員の皆様そして在校中に出会った子どもたち、沢山の出会いを与えてくれた栗駒小学校に感謝いたします。ありがとうございました。

時代の流れとはいえ、伝統のある栗駒小学校が地域からなくなるということは本当に残念でなりません。

この校舎から数多くの子どもたちが巣立って行きました。今も社会で活躍する子どもたちの心に栗駒小学校は生き続けることでしょう。

さようなら。栗駒小学校・・・

雪の判官森

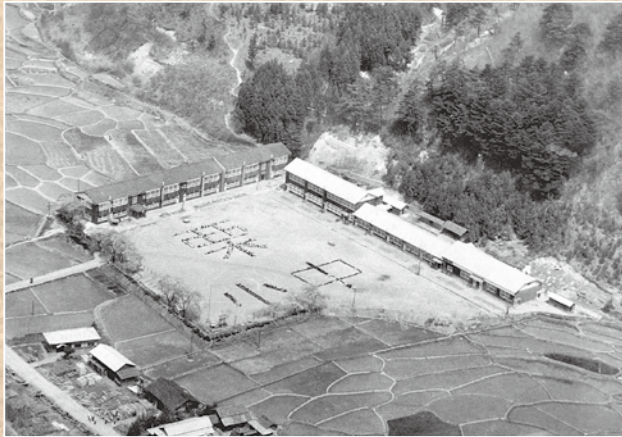




昭和13年頃 高等小学校卒業記念



昭和25年頃 担任の先生と一緒に正面玄関で



昭和31年 航空写真



昭和28年3月 卒業式の日在校舎の前で



昭和30年9月18日 中、全女 遊技



昭和31年5月 修学旅行(松島)



昭和40年 小中合同運動会



昭和39年度 卒業記念





昭和42年度 第4回栗原郡陸上大会記念



昭和45年 卒業記念



昭和52年 航空写真



登山清掃



昭和54年 1年生遠足 (一関 千葉久デパート)



学芸会本番前



昭和55年5月25日 運動会



神楽



昭和55年5月25日 運動会



昭和59年度 6年生修学旅行



昭和60年 陸上大会



昭和61年 学芸会



昭和61年 航空写真



昭和62年 音楽祭



平成元年 卒業記念制作



平成2年 運動会





平成6年 学芸会



平成8年 志津川合宿



平成14年 志津川合宿 手作りイカダ



平成15年 サマーキャンプ



平成18年 第2回栗原市小中学校音楽祭



平成18年 スキー教室（栗駒山）



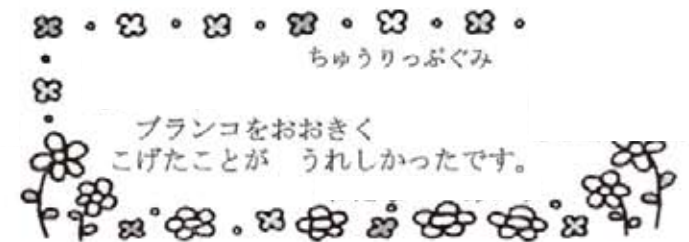
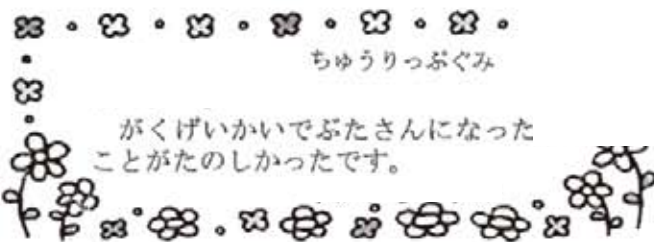
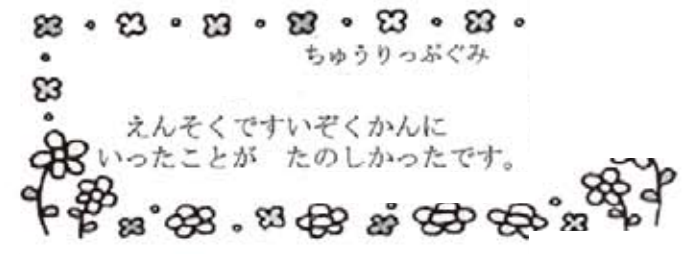
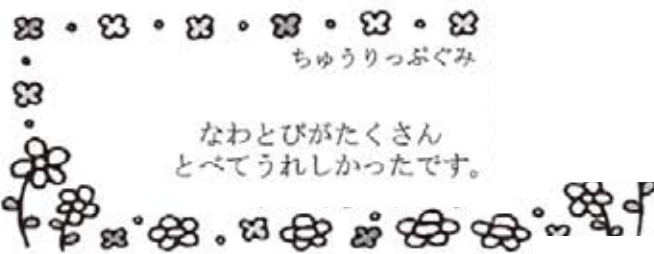
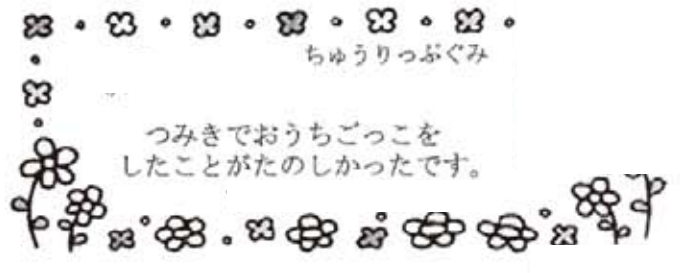
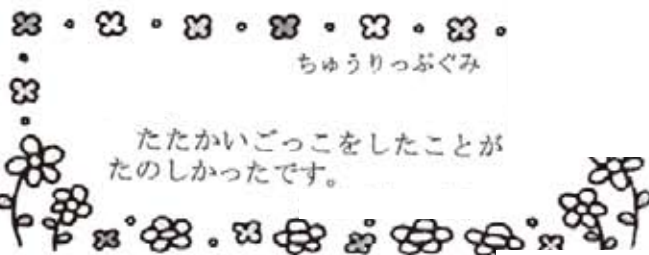
平成21年 6年生神楽出演
萩本欽一氏のゴールデンゴールズの試合の
オープニングで神楽披露



平成24年 航空写真



たのしかったね！くりこまようちえん





ぼくは、プールで
おともだちといっしょに
そんたごとかがたのしか
たです。

ぼくは、ばいきんぐき
かうしやくかいあししかた
です。

わたしのばん
のおもい出は、うんどう
かいのときよろうです。
きいごまでがんばりました。



学Pで
パズル作りをして
楽しかったです。
くりこま小学校
さようなら。

うんど
う会やプール
楽しかったです。
くりこま小、学木交
をわすれません。

えん足で 古だいの
里に行き、長いすべ
り台にのって楽しかたで
す。ありがとうくりこま

うんどう会
とても楽しかたです。
つな引きがかったから
です。ありがとうくりこ
ま小学校。

うんどう会
のラリーで
かててうれしかた
です。

大テールはふかくておな
かまで氷がまほした。トムにな
てもわすれません。





ありがとう

栗駒小学校



3年

くりこま小学校
で勉強した、
3年間を、わす
れません。

神楽は来年ないけど、
1番から7番まではわす
れません。3年間楽し
かったです。栗駒小学校
ありがとう。

くりこま小学校で
サッカーをして楽しかた
で勉強も楽しかたで
一生わすれません。

くりこま小学校
ですごした毎日は
一生わすれません。

勉強を
したり、みんなと
遊んだりして楽しかた
です。

会長さんと
ふく会長さん
から孝父わった
神楽をいつまでもわす
れません。
孝父えていただいてありがと

一番楽しかた
のは、運動会のつな
引きで白組がかった
ことです。来年もあると
いいな♡

くりこま小学校
で、神楽や勉強を
して楽しかたですこの3年
間は一生わすれません。

くりこま小学校
で、勉強を1人
だりして、楽しかた
し、みんなに会
えてうれしかたです。



さよなら 栗駒小

4年

友情

バイクソグ給食み
たいな栗小だからこそ
できる行事が楽しめ
て良かったです...

栗小で楽しかったことは、
運動会です。徒競走で
はみんなが来てたけど一生
けんめいでした。楽しかった。

花山学宿はみんなで
協力してできました。さあ
りではみんなの手をかりあ
たり協力できたの楽しかった。



先生たち全員が、おど
いなくときかたをわらわら
最後の運動会で頑張
りよかったです。楽しかった。

最後の運動会で
赤組が優勝しました。
そのときはとてもうれ
しかったです。楽しかったです。

花山合宿や、プールP
TAで行ったハイルゲームや
運動会その他はいろいろあ
って大変だけれど楽しかった。

私が一番大切に思ったのはみ
んなで行ったハイルゲームみんな
でたのびー。楽しかったです。
栗駒小学校ありがとう。

思い出いっぱい ありがとう
楽しかったよ



栗駒小学校の思い出 5年生

一番の思い出は友達とたくさん遊んだことです。たくさん自然があってとてもいい小学校でした。閉校になるのはとてもさみしいです。栗駒小学校たくさんの思い出をありがとう。

市の陸上大会で走り中高跳びで10位になれたことがうれしかったです。練習では2m50cmが跳べなかったのに本番では2m99cmも跳ぶことができました。とても心に残りました。

私がこの小学校で頑張ったことは陸上の練習です。特に走り高跳びを頑張りました。市の陸上大会では3位県では5位になることができました。一番の思い出になりました。

ぼくが一番楽しかったことはみんなと遊んだことです。いつも学年関係なく校庭で野球やサッカーをしました。花山合宿、陸上大会、水泳大会などの行事でもたくさん思い出ができました。

私の一番の思い出は合宿です。3年生では志津川、4年生では仙台、5年生では花山に行きました。しおりを作ったのがおもしろかったです。光のページェントが心に残っています。

ぼくは、仙台から転校してきたけれどみんなはぼくのことを友達としてくれました。これからもみんなはぼくの大切な友達です。栗小では判官森のとんぐりコースを、探検したことが楽しかったです。

入学したときから、5年生が終わるまでの5年間を過ごした栗駒小学校。一番心に残ったのは今年の秋の陸上大会です。卒業までいることはできなかつたけれど、栗駒小学校でのことはずっと忘れません。

栗駒小学校は自然豊かな学校で5年生の教室はいつも楽しく落ちつける場所でした。なにより一番の思い出は水泳や陸上をがんばったことです。若小でも思い出をつくればうれしいです。



ありがとう栗小

今年の夏のサマーキャンプで夜きもだめしをしました。音楽室がこわかったですけど楽しかったよ。

サマーキャンプでスタンプが失敗したりとバブーはとってもおいしかったです。えだ豆も食べました。

運動会で今年は最後だからがんばりました。なんとかなり優勝できてうれしかったです。

最後の運動会で足が速くなりリレーメンバーにもえらばれた。うれしかったです。

サマーキャンプの時にきもだめして音楽室に行ったらなんかガシャーンという音がして走って逃げました。

副会長さんにおまわりおこられたので神楽がたしほなりました。

休み時間の野球でピッチャーになりました。うれしかったです。水かきもスポーツがんばるぞ!!

陸上大会で3位をとったよ。タイムは(13秒98)水泳大会で1位をとってすごくうれしかったです。栗小でスポーツをがんばったよ。

年生のページ





栗原市立栗駒小学校閉校記念誌

発刊 平成25年3月
発行 栗原市教育委員会
企画・編集 栗原市立栗駒小学校閉校記念事業実行委員会
栗原市立栗駒小学校
表紙題字 校長 木田真由美